

## 第6章 付 属 資 料



1 タイ造林研究訓練計画専門家派遣リスト

氏名	等級	長短	指導科目	任国動	派遣期間	派遣日数	赴任時現職又は連絡先	関係省庁
1 藤健治	1-2号	長	林野庁 林	林野庁	\$56.11.16 - \$58.11.15	729	林野庁指導部計画課付	農水省
2 土屋利明	2-1号	長	林野庁 兼造	林野庁	\$57.02.01 - \$60.01.31	1095	林野庁指導部計画課付	農水省
3 米倉昭三	2-1号	長	林業機械	林野庁	\$57.04.01 - \$61.07.28	1579	JICA特別嘱託	JICA
4 志賀忠夫	1-1号	長	業務調整	林野庁	\$57.05.15 - \$61.07.28	1535	JICA職員	JICA
5 谷口義則	4-0号	長	造林	林野庁	\$57.01.01 - \$59.01.31	760	林野庁指導部計画課付	農水省
6 大脇昭	2-2号	長	森林土壌	林野庁	\$58.03.28 - \$60.03.21	724	林野庁指導部計画課付	農水省
7 杉野洋二	3-0号	長	種苗	林野庁	\$59.01.26 - \$61.07.28	914	林野庁指導部計画課付	農水省
8 石川広隆	0-2号	長	林野庁 林	林野庁	\$59.04.01 - \$61.03.31	729	林業試験場造林部	農水省
9 樋口国雄	2-1号	長	森林生態	林野庁	\$59.06.15 - \$61.07.28	773	林業試験場調査部	農水省
10 石塚和裕	3-0号	長	森林土壌	林野庁	\$59.08.01 - \$61.12.16	867	林業試験場土壌部	農水省
11 安藤宇一	2-1号	長	林野庁 林	林野庁	\$60.01.15 - \$62.07.28	924	林野庁計画課付	農水省
12 岩佐正行	4-0号	長	森林土壌	林野庁	\$60.03.08 - \$62.07.28	872	林野庁計画課付	農水省
13 齋藤寛	4-0号	長	業務調整	林野庁	\$61.07.21 - \$61.07.21	1096	国際協力事業団職員	JICA
14 加藤亮助	0-2号	長	林野庁 林	林野庁	\$61.07.22 - \$63.07.21	1825	無職(前浅川実験林長)	農水省
15 田淵隆一	4-0号	長	森林生態	林野庁	\$61.07.22 - \$63.07.21	730	林業試験場	農水省
16 吉岡二郎	1-2号	長	森林土壌	林野庁	\$61.12.11 - \$63.12.10	730	林業試験場関西支場	農水省
17 加茂皓一	2-2号	長	造林	林野庁	\$62.03.18 - \$61.08.17	833	森林総合研究所関西支所	農水省
18 三島征一	2-1号	長	森林経営	林野庁	\$62.07.03 - \$61.07.02	730	林野庁業務部経営企画課	農水省
19 川端省三	5-1号	長	造林	林野庁	\$62.07.03 - \$61.07.02	730	林野庁経営企画課	農水省
20 中村松三	3-0号	長	森林生態	林野庁	\$63.09.11 - \$63.07.28	1050	森林総合研究所九州支所	農水省
21 酒井正治	3-0号	長	森林土壌	林野庁	\$61.04.17 - \$63.07.28	832	森林総合研究所	農水省
22 岸沢利文	5-1号	長	業務調整	林野庁	\$61.07.08 - \$63.07.28	750	国際協力事業団職員	JICA
23 大脇昭	2-1号	長	森林経営	林野庁	\$61.10.01 - \$63.07.28	665	林野庁業務部経営企画課	農水省
24 石塚森三	3-0号	長	造林	林野庁	\$61.12.01 - \$63.07.28	604	森林総合研究所北海道支所	農水省
25 内村鏡三	1-0号	短	造林	林野庁	\$61.09.06 - \$57.10.05	29	林業試験場海外林業調査科長	農水省
26 坂本廣保	3-0号	短	施工監理	林野庁	\$57.10.14 - \$58.03.31	168	林業土木試験場	JICA
27 吉岡二郎	2-0号	短	土壌	林野庁	\$57.11.17 - \$57.12.23	36	林業試験場関西支場	農水省
28 芳形勉	4-0号	短	林道設計	林野庁	\$58.04.25 - \$58.06.29	65	林業土木試験場	JICA
29 高橋辰二	6-0号	短	林道設計	林野庁	\$58.04.25 - \$58.06.23	59	林業土木試験場	JICA
30 土井恭二	0-1号	短	研究行政	林野庁	\$58.08.16 - \$58.08.23	7	林業試験場場長	農水省
31 藤孝介	1-0号	短	研究行政	林野庁	\$58.08.16 - \$58.09.03	18	林業試験場土壌肥料科科長	農水省
32 吉岡二郎	2-0号	短	森林土壌	林野庁	\$58.11.22 - \$58.12.22	30	林業試験場関西支場	農水省
33 藤孝介	1-0号	短	研究管理	林野庁	\$58.12.11 - \$59.04.10	121	林業試験場土壌肥料科科長	農水省
34 高橋辰二	6-0号	短	施工監理	林野庁	\$59.01.26 - \$59.07.10	166	林業土木試験場	JICA
35 久保哲英	1-1号	短	立地分析	林野庁	\$59.11.30 - \$59.12.20	20	林業試験場土壌部	農水省
36 猪瀬光雄	3-0号	短	立地分析	林野庁	\$60.01.18 - \$60.02.17	30	林業試験場北海道支場	農水省
37 田中潔	2-0号	短	森林保護	林野庁	\$60.01.18 - \$60.02.17	30	林業試験場北海道支場	農水省
38 土井恭二	0-0号	短	研究計画	林野庁	\$60.08.26 - \$60.09.14	19	無職	農水省
39 渡辺桂	1-0号	短	造林	林野庁	\$60.08.26 - \$60.09.14	19	JICA特別嘱託	JICA
40 白石進	4-0号	短	種子生理	林野庁	\$60.11.07 - \$60.12.06	29	林業試験場造林部	農水省
41 井上 植	1-0号	短	光合成	林野庁	\$60.11.07 - \$60.12.06	29	林業試験場造林部	農水省
42 青島清雄	0-0号	短	樹木病理	林野庁	\$60.11.26 - \$60.12.25	26	無職	農水省
43 野瀬輝	0-0号	短	虫害防除	林野庁	\$60.11.26 - \$60.12.20	24	林業試験場保護部	農水省
44 井上 雄	1-0号	短	光合成	林野庁	\$61.06.05 - \$61.07.25	50	林業試験場造林部	農水省
45 前藤薫	5-2号	短	病虫害管理	林野庁	\$61.09.11 - \$61.11.10	60	林業試験場北海道支場保護部	農水省
46 赤間寛夫	4-0号	短	林木栄養	林野庁	\$61.11.12 - \$61.12.30	48	林業試験場土壌部土壌肥料科	農水省
47 堀田庸	1-2号	短	土壌	林野庁	\$62.10.26 - \$62.12.25	60	林業試験場土壌部	農水省
48 前藤薫	5-2号	短	昆虫	林野庁	\$63.03.18 - \$63.04.14	27	林業試験場北海道支場	農水省
49 高橋邦秀	2-1号	短	光合成	林野庁	\$63.04.15 - \$63.05.15	30	林業試験場北海道支場	農水省
50 坂本広保	3-0号	短	施工管理	林野庁	\$63.05.15 - \$63.07.14	60	林業土木試験場	JICA
51 笹本浜子	2-2号	短	組織培養	林野庁	\$63.05.17 - \$63.06.18	32	林業試験場造林部	農水省
52 藤原敏栄	5-1号	短	業務出張	林野庁	\$62.02.25 - \$62.03.03	6	JICA職員	JICA
53 中平田潔	4-0号	短	昆虫	林野庁	\$62.02.26 - \$62.04.25	58	森林総合研究所	農水省
54 今井忠美	1-2号	短	施工管理	林野庁	\$62.04.03 - \$62.05.17	44	日本林業技術協会	JICA
55 青島清夫	0-0号	短	樹病	林野庁	\$62.04.10 - \$62.06.09	60	林業科学振興所	JICA
56 今井忠美	1-2号	短	施工管理	林野庁	\$62.08.07 - \$62.08.26	19	日本林業技術協会	JICA
57 金沢洋一	2-1号	短	光環境	林野庁	\$62.11.14 - \$62.12.25	41	森林総合研究所北海道支所	農水省
58 今井忠美	1-2号	短	施工管理	林野庁	\$63.01.04 - \$63.01.18	14	日本林業技術協会	JICA
59 山本千秋	1号	短	林木育種	林野庁	\$61.04.10 - \$61.06.09	60	森林総研	農水省
60 大西浩三	3号	短	群衆群衆	林野庁	\$63.12.02 - \$63.12.21	20	林業試験場	農水省
61 池田俊弥	2号	短	昆虫	林野庁	\$61.03.01 - \$61.04.15	45	森林総研	農水省
62 後藤忠男	3号	短	昆虫	林野庁	\$63.02.20 - \$63.04.19	59	森林総研	農水省
63 吉岡二郎	短	短	土壌	林野庁	\$63.03.25 - \$63.04.08	15	森林総研関西支所	農水省
64 加茂皓一	短	短	造林	林野庁	\$63.03.25 - \$63.04.08	15	森林総研関西支所	農水省

2 タイ研修員受入実績表

	研修員氏名	研修科目	研修開始日	研修終了日	研修日数	現在の所属
1	MR. PAISAL KUWALAIRAT	林業一般	84.05.17	84.06.18	32	造林課長
2	MS. WILAWAN TANTIRAPHAN	造林	84.05.17	84.08.18	93	
3	MR. UDOM HIRANPRUECK	造林研究訓練	84.08.02	84.08.17	15	
4	MR. KANUNGKIJ LIMTRAKUN	造林研究訓練	84.08.02	84.10.31	90	
5	MR. KIATKONG PITPREECHA	森林育成	85.08.15	85.10.04	50	生態研究室長
6	MR. BUNYALID PURIYAKORN	森林土壌	85.08.15	85.11.19	96	ラボ試験所長
7	MR. SANAN KINGMUANGKOW	造林研究訓練	86.01.19	86.02.23	35	
8	MS. RATCHANEE PANSAB	造林研究訓練	86.07.01	86.09.30	91	
9	MR. THITI VISARATANA	造林研究訓練	86.09.11	86.11.26	76	生態研究室研究員
10	MR. BHADHARAJAYA RAJANI	造林研究訓練計画	87.02.15	87.02.28	13	
11	MR. SOMCHAI PIENSTAPORN	造林研究訓練	87.03.29	87.04.11	13	
12	MS. PATHUM BOONARUTEE	造林	87.07.27	87.12.01	127	
13	MR. SUMET SIRILAK	造林	88.01.25	88.04.27	93	造林課職員
14	MR. NARONG GRITTANUGUL	森林行政	88.02.29	88.03.16	16	
15	MR. PONG LENG-EE	造林	88.03.07	88.03.16	9	
16	MS. PORNPUJ JONGSUKSUNTIGOOL	森林土壌	88.03.14	88.06.08	86	
17	MR. SOMBOON KIRATIPRAYOON	造林	88.08.22	88.12.07	107	
18	MR. PIN KGERKOOOL	造林	88.10.26	88.11.23	28	策*研究センター長
19	MR. SATHIT SAWINTARA	造林	89.02.27	89.03.05	6	
20	MR. LT. BUNNALERT RUSHATKUL	造林	89.02.27	89.03.05	6	
21	MR. SURACHAJ CHOLDUMRONGKUL	森林保護	89.07.24	89.11.24	123	
22	MR. SOMBOON BOONYUEN	造林研究	89.09.18	89.12.16	89	生態研究室研究員
23	MR. PAISARN TANAPERKPOOM	森林経営	89.09.20	89.12.19	90	
24	MR. THIRDPONG SUPAPERM	森林経営	90.08.25	90.11.27	94	ラボ課職員
25	MS. SIRIPA PROPNI	森林土壌	90.08.25	90.11.27	94	土壌研究室研究員
26	MS. ANPAI SIRILAK	森林土壌	90.08.25	90.11.27	94	造林課職員

### 3 供与機材リスト

期	年	種別	機材名	形式	メーカー	関連課	管理地1	管理地2	供与	処	現	利用	管理	
1	1	81	車両	ステーションワゴン	STATION WA	日産	造研課	カウ-IFS	1	0	1	A	A	
2	1	81	車両	小型トラック	J-L021PE	三菱	造研課	カウ-IFS	1	0	1	A	A	
3	1	81	車両	ブルドーザ	D-60A6	小松	造研課	カウ-IFS	1	0	1	A	A	
4	1	81	車両	ダンプトラック	SBR322	イスズ	造研課	カウ-IFS	1	0	1	A	A	
5	1	81	車両	小型トラック	HUAU5-R 4W	富士	造研課	カウ-IFS	1	0	1	A	A	
6	1	81	車両	パワーショベル	PC-100L	小松	造研課	カウ-IFS	1	0	1	A	A	
7	1	81	車両	ドーザショベル	D57S	小松	造研課	カウ-IFS	1	0	1	A	A	
8	1	81	車両	マイクロバス	WFR-51FBH	イスズ	造研課	カウ-IFS	1	0	1	D	故	
9	1	81	車両	ファームトラクター	T9000ENFEG	井関	造研課	カウ-IFS	1	0	1	A	A	
10	1	81	動力	発電機	1056SV	UM	造研課	カウ-IFS	1	0	1	C	A	
11	1	81	一般	刈払機	FBC-23	KOMATUZENO	造研課	カウ-IFS	5	0	0		廃	
12	1	81	実験	長期隔測自記雨量計	BR7100	NAKAASA	造研課	カウ-IFS	サハA	1	0	1	A	A
13	1	81	実験	長期自記温湿度計	E14100	NAKAASA	造研課	カウ-IFS	サハA	1	0	1	A	A
14	1	81	実験	百葉箱	M01102	NAKAASA	造研課	カウ-IFS	サハA	1	0	1	A	A
15	1	81	実験	大型蒸発計	D011	NAKAASA	造研課	カウ-IFS	サハA	1	0	1	A	A
16	1	81	実験	風向風速計	AS1100	NAKAASA	造研課	カウ-IFS	サハA	1	0	1	A	A
17	1	81	動力	揚水ポンプ	H810	EBARA	造研課	カウ-IFS	サハA	1	0	1	A	A
18	1	81	実験	定温発芽試験器	KV112	KIYA	造研課	カウ-IFS	サハA	1	0	1	B	A
19	1	81	一般	チェンソー	G46DAVS	KOMATUZENO	造研課	カウ-IFS	サハA	1	0	1	B	A
20	1	81	施設	貯水タンク	5000L		造研課	カウ-IFS	官舎	1	0	1	D	A
21	1	81	視聴	スライド映写機	2500TEF	FUJIX	造研課	カウ-IFS	管理棟	1	0	1	B	A
22	1	81	動力	発電機	EY20D	ROBIN	造研課	カウ-IFS	機械庫	1	0	1	C	A
23	1	81	一般	ベルトコンベヤー	5*0.35M	NIKKO	造研課	カウ-IFS		1	0	1	B	A
24	1	81	一般	ベルトコンベヤー	7*0.35M	NIKKO	造研課	カウ-IFS		1	0	1	B	A
25	1	81	車両	四輪駆動自動車	PATROL WG1	日産	造研課	セントラル		1	0	1	B	A
26	1	81	事務	複写機	DT5300	RICOH	造研課	セントラル		1	0	1	A	A
27	1	82	車両	オートバイ	FR80	スズキ	造研課	カウ-IFS		1	0	0		廃
28	1	82	車両	オートバイ	TRS	スズキ	造研課	カウ-IFS		1	0	0		廃
29	1	82	車両	オートバイ	TRS	スズキ	造研課	カウ-IFS		1	0	0		廃
30	1	82	車両	ファームトラクター	6600	フォード	造研課	カウ-IFS		1	0	1	A	A
31	1	82	車両	ファームトラクター	6600	フォード	造研課	カウ-IFS		1	0	1	A	A
32	1	82	車両	ブルドーザ	D6D-6SLGP	三菱	造研課	カウ-IFS		1	0	1	A	A
33	1	82	車両	小型ブルドーザ	D2DA-5	小松	造研課	カウ-IFS		1	0	1	A	A
34	1	82	車両	ホイールローダ	W20	小松	造研課	カウ-IFS		1	0	1	A	A
35	1	82	車両	クレーン付トラック	TK80G	日産	造研課	カウ-IFS		1	0	1	A	A
36	1	82	車両	防災用水タンク車	DAJ10-3	豊田	造研課	カウ-IFS		1	0	1	A	A
37	1	82	車両	トラック	DYNA BU30R	豊田	造研課	カウ-IFS		1	0	1	A	A
38	1	82	車両	ダンプトラック	TK80F	日産	造研課	カウ-IFS		1	0	1	A	A
39	1	82	車両	小型トラック	UPY720TU	日産	造研課	カウ-IFS		1	0	1	A	A
40	1	82	車両	四輪駆動車	JIMNY SJ41	スズキ	造研課	カウ-IFS		1	0	1	A	A
41	1	82	車両	四輪駆動車	JIMNY SJ41	スズキ	造研課	カウ-IFS		1	0	1	A	A
42	1	82	車両	動力運搬車	PC801D-T	三菱	造研課	カウ-IFS		1	0	1	D	故
43	1	82	施設	冷蔵庫	NR272MV	NATIONAL	造研課	カウ-IFS	サハA	1	0	1	A	A
44	1	82	施設	温水洗車機	CW18SCAR	BANZAI	造研課	カウ-IFS	サハA	1	0	1	A	A
45	1	82	実験	部品洗浄台	J WS50	BANZA	造研課	カウ-IFS	サハA	1	0	1	A	A
46	1	82	一般	卓上ボール盤	B13SB	HITACHI	造研課	カウ-IFS	サハA	1	0	1	B	A
47	1	82	一般	工具キャビネット	D3000	BANZAI	造研課	カウ-IFS	サハA	1	0	1	A	A
48	1	82	一般	卓上電機グラインダー	110	NEW CHAMPI	造研課	カウ-IFS	サハA	1	0	1	B	A
49	1	82	一般	エンジン溶接機	APS55	HITACHI	造研課	カウ-IFS	サハA	1	0	1	B	A
50	1	82	建設	振動コンパクター	MVC90F	MIKASA	造研課	カウ-IFS	サハA	2	0	2	B	A
51	1	82	建設	ランマーバイブレーター	HTR55	MIKASA	造研課	カウ-IFS	サハA	1	0	1	C	A
52	1	82	建設	エンジン削岩機	DA20	DIAMOND	造研課	カウ-IFS	サハA	1	0	1	C	A
53	1	82	一般	ガス溶接機	G510	HERO	造研課	カウ-IFS	サハA	1	0	1	B	A
54	1	82	一般	ユニバサルプーラ	HP5000	BANZAI	造研課	カウ-IFS	サハA	1	0	1	A	A
55	1	82	一般	ガレージキャッキ	NSG5	NAGASAKI	造研課	カウ-IFS	サハA	2	0	2	A	A
56	1	82	一般	コンプレッサ	HVL3	HORI	造研課	カウ-IFS	サハA	1	0	1	B	A
57	1	82	通信	通信機	SC2510G	SHINWA	造研課	カウ-IFS	管理棟	1	0	1	D	故
58	1	82	視聴	ビデオセット	TQME	SONY	造研課	カウ-IFS	管理棟	1	0	1	B	A

期年	種別	機材名	形式	メーカー	関連課	管理地1	管理地2	供与処	現利用	管理
59	1 82	事務	タイプライター		IBM	造研課	カラトFS	管理棟	1 0 1	A A
60	1 82	実験	製図板	WAE1	MUTO	造研課	カラトFS	機械庫	1 0 1	A A
61	1 82	建設	砕土機	BN01B	YASKAWA	造研課	カラトFS	機械庫	1 0 1	C A
62	1 82	実験	電子上皿天秤	1401MP	SARTORIUS	造研課	カラトFS	土壌鉢	1 0 1	B A
63	1 82	実験	定温乾燥機	DS42	YAMATO	造研課	カラトFS	土壌鉢	1 0 1	B A
64	1 82	実験	卓上型電気炉	FM25	YAMATO	造研課	カラトFS	土壌鉢	1 0 1	B A
65	1 82	実験	PHメーター	HM18E	TOA	造研課	カラトFS	土壌鉢	1 0 1	C A
66	1 82	実験	赤外線水分計	1901A	KIYA	造研課	カラトFS	土壌鉢	2 0 2	B A
67	1 82	一般	ベルトコンベヤー	ESDC35	NIKKO	造研課	カラトFS	苗畑	5 0 5	B A
68	1 82	建設	ミキサー	MINER	KUBOTA	造研課	カラトFS	苗畑	1 0 1	A A
69	1 82	実験	百葉箱	M01102	NAKAASA	造研課	カラトFS	苗畑	1 0 1	A A
70	1 82	実験	長期自記温度計	E41	NAKAASA	造研課	カラトFS	苗畑	1 0 1	A A
71	1 82	実験	長期露滴自記雨量計	BR11	NAKAASA	造研課	カラトFS	苗畑	1 0 1	A A
72	1 82	実験	大型蒸発計	DB11	NAKAASA	造研課	カラトFS	苗畑	1 0 1	A A
73	1 82	実験	直結式風向風速計	AS11Z	NAKAASA	造研課	カラトFS	苗畑	1 0 1	A A
74	1 82	動力	ポンプ	40L/MIN	GOSYU	造研課	カラトFS	苗畑	1 0 1	A A
75	1 82	車両	ステーションワゴン	SANNY 1500	日産	造研課	セントラル		1 0 1	A A
76	1 82	事務	複写機	DT5200	RICOH	造研課	セントラル		1 0 1	A A
77	1 82	視聴	カメラ	ME	ASAHI	造研課	セントラル		1 0 1	A A
78	1 82	実験	録音面積計	LJ-300	ライカー	造研課	セントラル	生態研究室	1 0 1	D 故
79	1 83	車両	トラック	KL-300	日野	造研課	カラトFS		1 0 1	A A
80	1 83	車両	バス	KJ172	日野	造研課	カラトFS		1 0 1	A A
81	1 83	車両	ホイロロータ	TCM725	東洋	造研課	カラトFS		1 0 1	D 故
82	1 83	建設	ハイブレッタローラ	SV25H	酒井	造研課	カラトFS		1 0 1	B A
83	1 83	建設	コンプレッサー	EC50Z	小松	造研課	カラトFS		1 0 1	B A
84	1 83	施設	エアコン	UNJAIR		造研課	カラトFS		5 0 5	B A
85	1 83	施設	エアコン	DAIKIN		造研課	カラトFS		3 0 3	B A
86	1 83	実験	恒温発芽試験器	TGL100	KIYA	造研課	カラトFS	鉢 倉庫	1 0 1	B A
87	1 83	実験	バルブシートグラインダー		BANZAI	造研課	カラトFS	鉢 倉庫	1 0 1	A A
88	1 83	事務	データファイル保管庫	DF63G-DF63	LION	造研課	カラトFS	鉢 倉庫	1 0 1	A A
89	1 83	実験	セオドライト	TM20E	SOKKISYA	造研課	カラトFS	鉢 倉庫	1 0 1	C A
90	1 83	実験	精密距離計	DM500A	TOPCON	造研課	カラトFS	鉢 倉庫	1 0 1	C A
91	1 83	実験	実体鏡	MSJ	TOPCON	造研課	カラトFS	鉢 倉庫	1 0 1	B A
92	1 83	一般	丸鋸目立機	BEAVERS	TENRYU	造研課	カラトFS	鉢 倉庫	1 0 1	A A
93	1 83	建設	崩落機	IRON	YAMAMOTO	造研課	カラトFS	鉢 倉庫	2 0 2	C A
94	1 83	施設	焼却炉	SH11	DAITOU	造研課	カラトFS	鉢 倉庫	1 0 1	A A
95	1 83	施設	物品棚		BANZAI	造研課	カラトFS	鉢 倉庫	1 0 1	A A
96	1 83	施設	工具キャビネット	E1100HA	BANZAI	造研課	カラトFS	鉢 倉庫	1 0 1	A A
97	1 83	一般	油圧プレス	HP30HD	BANZAI	造研課	カラトFS	鉢 倉庫	1 0 1	A A
98	1 83	一般	大型吸塵機	SPV101A	SUIDEN	造研課	カラトFS	鉢 倉庫	1 0 1	A A
99	1 83	施設	工具キャビネット	TB100B	BANZAI	造研課	カラトFS	鉢 倉庫	1 0 1	A A
100	1 83	一般	大型車用メカニカルキット	HM88000	BANZAI	造研課	カラトFS	鉢 倉庫	1 0 1	A A
101	1 83	一般	チェンソー	550SL30	HONELITE	造研課	カラトFS	鉢 倉庫	1 0 1	B A
102	1 83	一般	コンプレッサー	PP25	PUMA	造研課	カラトFS	鉢 倉庫	1 0 1	B A
103	1 83	視聴	8mm 映画		KIKAIKANAE	造研課	カラトFS	管理棟	1 0 1	C A
104	1 83	通信	インターフォン	VL356	NATIONAL	造研課	カラトFS	管理棟	1 0 1	A A
105	1 83	視聴	オーバーヘッドプロジェクタ	QHP250F	RICOH	造研課	カラトFS	管理棟	1 0 1	B A
106	1 83	施設	給湯装置	DH110	NATIONAL	造研課	カラトFS	土壌鉢	2 0 2	A A
107	1 83	林業	焼土機	201E	HEXAPET	造研課	カラトFS	苗畑	1 0 1	B A
108	1 83	建設	ミキサー	MINER	KUBOTA	造研課	カラトFS	苗畑	1 0 1	A A
109	1 83	一般	スプリングローラ		EIWA	造研課	カラトFS	苗畑	1 0 1	C A
110	1 83	林業	土壌ふるい機	MS1B	SANKEN	造研課	カラトFS	苗畑	1 0 1	B A
111	1 83	実験	パラフィン溶融器	3510A	KIYA	造研課	セントラル	H 行研究	1 0 1	B A
112	1 83	実験	パラフィン包埋機	T19TNJ	KIYA	造研課	セントラル	H 行研究	1 0 1	B A
113	1 83	実験	マイクロトーム	5506	KIYA	造研課	セントラル	H 行研究	1 0 1	B A
114	1 83	実験	マイクロトーム	5501	KIYA	造研課	セントラル	H 行研究	1 0 1	B A
115	1 83	実験	自動乳鉢	UT21	YAMATO	造研課	セントラル	H 行研究	1 0 1	B A
116	1 83	実験	ホモジナイザー	HD2	KIYA	造研課	セントラル	H 行研究	1 0 1	B A
117	1 83	施設	冷蔵庫	SR1001	SANYO	造研課	セントラル	H 行研究	1 0 1	A A
118	1 83	事務	耐火金庫	SUPER	KONGOU	造研課	セントラル	プロジェクト室	1 0 1	A A

期年	種別	機材名	形式	メーカー	関連課	管理地1	管理地2	供与	処	現	利用	管理		
119	1	83	事務	タイプライター	IBM	造研課	セトヲヲ	ブドウ外室	1	0	1	A	A	
120	1	83	実験	制図台	PM300	PLUS	造研課	セトヲヲ	ブドウ外室	1	0	1	A	A
121	1	83	施設	冷蔵庫	SR1001	SANYO	造研課	セトヲヲ	ブドウ外室	1	0	1	A	A
122	1	83	実験	赤外線水分計	F-1B	KETT	造研課	セトヲヲ	育種研究室	2	0	2	B	A
123	1	83	施設	冷蔵庫	SR1001	SANYO	造研課	セトヲヲ	育種研究室	1	0	1	A	A
124	1	83	実験	水結ミクロトーム	CM41	千代田	造研課	セトヲヲ	研究調整室	1	0	1	B	A
125	1	83	一般	冷蔵庫	SR1001	SANYO	造研課	セトヲヲ	研究調整室	1	0	1	A	A
126	1	83	実験	PHメーター	F8DP	HORIBA	造研課	セトヲヲ	樹病研究室	2	0	2	B	A
127	1	83	実験	解剖顕微鏡	VM5	OLYMPUS	造研課	セトヲヲ	樹病研究室	1	0	1	B	A
128	1	83	実験	生物顕微鏡	BH2	OLYMPUS	造研課	セトヲヲ	樹病研究室	1	0	1	B	A
129	1	83	実験	マグミキサ	MH81	YAMATO	造研課	セトヲヲ	樹病研究室	1	0	1	A	A
130	1	83	実験	放射計	LJ-1776-02	ライカー	造研課	セトヲヲ	生態研究室	1	0	1	B	A
131	1	83	一般	チェンソー	550SL30	HOMELITE	造研課	セトヲヲ	生態研究室	1	0	1	B	A
132	1	83	施設	冷蔵庫	SR1001	SANYO	造研課	セトヲヲ	生態研究室	1	0	1	A	A
133	1	83	実験	定温乾燥機	DS63STR	YAMATO	造研課	セトヲヲ	生態研究室	1	0	1	A	A
134	1	83	実験	緑葉面積計	168BGA4	KIYA	造研課	セトヲヲ	生態研究室	1	0	1	B	A
135	1	83	実験	ルックスメーター	LI185	LATKA	造研課	セトヲヲ	生態研究室	2	0	2	B	A
136	1	83	実験	マルチチャンネル記録計	EPR200A	TOA	造研課	セトヲヲ	生態研究室	1	0	1	B	A
137	1	83	実験	マグミキサ	MH81	YAMATO	造研課	セトヲヲ	生態研究室	1	0	1	A	A
138	1	83	実験	上皿電子天秤	1401MP7	SARTORIUS	造研課	セトヲヲ	生態研究室	1	0	1	A	A
139	1	83	施設	冷蔵庫	SR1001	SANYO	造研課	セトヲヲ	土壌研究室	1	0	1	A	A
140	1	83	実験	PHメーター	F8DP	HORIBA	造研課	セトヲヲ	土壌研究室	1	0	1	B	A
141	1	83	実験	定温乾燥機	DS63-2TR	YAMATO	造研課	セトヲヲ	土壌研究室	1	0	1	A	故
142	1	83	実験	低温恒温器	LL71	YAMATO	造研課	セトヲヲ	土壌研究室	1	0	1	B	A
143	1	83	実験	純粋製造装置	W042	ORGANO	造研課	セトヲヲ	土壌研究室	1	0	1	A	A
144	1	83	実験	自動乳鉢	UT21	YAMATO	造研課	セトヲヲ	土壌研究室	2	0	2	B	A
145	1	83	実験	実体鏡	HS3	TOPCON	造研課	セトヲヲ	土壌研究室	1	0	1	B	A
146	1	83	実験	上皿電子天秤	PD5000	SARTORIUS	造研課	セトヲヲ	土壌研究室	1	0	1	A	A
147	1	84	車両	ステーションワゴン	RX60RGXWKP	豊田	造研課	サテ+FS		1	0	1	A	A
148	1	84	車両	ファームトラクター	T9000	井関	造研課	サテ+FS		1	0	1	A	A
149	1	84	実験	レベル	ATE3	TOPCON	造研課	サテ+FS	水倉庫	5	0	5	B	A
150	1	84	実験	精密顕微鏡計	DM500A	TOPCON	造研課	サテ+FS	水倉庫	5	0	5	B	A
151	1	84	一般	タイヤ交換機	TCM15P	BANZAI	造研課	サテ+FS	水倉庫	1	0	1	B	A
152	1	84	視聴	ポータブルビデオセット	WVPA2N	NATIONAL	造研課	サテ+FS	管理棟	1	0	1	B	A
153	1	84	視聴	アンプ	WA745K	NATIONAL	造研課	サテ+FS	管理棟	1	0	1	A	A
154	1	84	視聴	実物投影機	EVD800N	SHIMAZU	造研課	サテ+FS	管理棟	1	0	1	B	A
155	1	84	視聴	映画フィルム	YOMIGAERUD	YOMIGAERUD	造研課	サテ+FS	管理棟	1	0	1	C	A
156	1	84	視聴	映画フィルム	YAMARAJIBO	YAMARAJIBO	造研課	サテ+FS	管理棟	1	0	1	C	A
157	1	84	通信	無線装置	HF/SSB	SGC	造研課	サテ+FS	管理棟	1	0	1	A	A
158	1	84	施設	洗濯機	NAB7D	NATIONAL	造研課	サテ+FS	管理棟	1	0	1	A	A
159	1	84	施設	洗濯機	ES400AF	SHARP	造研課	サテ+FS	管理棟	1	0	1	A	A
160	1	84	実験	土壌通気性測定器	HI	KIYA	造研課	サテ+FS	土壌室	1	0	1	B	A
161	1	84	実験	攪拌機	LR41C	YAMATO	造研課	サテ+FS	土壌室	1	0	1	B	A
162	1	84	実験	全有機炭素計	TOC10B	島田	造研課	セトヲヲ	行研究	1	0	1	B	A
163	1	84	実験	ロータリーエバポレーター	EL1305QW	IKEMOTO	造研課	セトヲヲ	行研究	1	0	1	B	A
164	1	84	実験	脂肪抽出器	1722B	IKEMOTO	造研課	セトヲヲ	行研究	1	0	1	B	A
165	1	84	実験	油回転真空ポンプ	GP	IKEMOTO	造研課	セトヲヲ	行研究	1	0	1	B	A
166	1	84	事務	タイプライター	IBM	造研課	セトヲヲ	ブドウ外室	1	0	1	A	A	
167	1	84	施設	エアコン	SUNAIR	造研課	セトヲヲ	ブドウ外室	2	0	2	A	A	
168	1	84	施設	ポータブルビデオセット	WVPA211	NATIONAL	造研課	セトヲヲ	研修室	1	0	1	B	A
169	1	84	視聴	プロジェクトスクリーン	AHSPS-W	OLYMPUS	造研課	セトヲヲ	樹病研究室	1	0	1	B	A
170	1	84	実験	積算照度記録装置	PH11M2AT	スガ	造研課	セトヲヲ	生態研究室	1	0	1	B	A
171	1	84	実験	自記式多量土壌PF測定器	DIK3430	大起	造研課	セトヲヲ	土壌研究室	1	0	1	B	A
172	1	84	実験	土壌濁度分析装置	KOHN	DAIKI	造研課	セトヲヲ	土壌研究室	1	0	1	B	A
173	1	84	施設	湯煎器	3100B	KIYA	造研課	セトヲヲ	土壌研究室	1	0	1	B	A
174	1	84	実験	アイカ分析用粉砕器	AIKA	IKEMOTO	造研課	セトヲヲ	土壌研究室	1	0	1	B	A
175	1	84	実験	ウイリー型粉砕器	4525	IKEMOTO	造研課	セトヲヲ	土壌研究室	1	0	1	A	A
176	1	84	実験	往復式振とう機	5520D	IKEDA	造研課	セトヲヲ	土壌研究室	1	0	1	A	A
177	1	84	実験	ハンディーアスピレーター	WP51	YAMATO	造研課	セトヲヲ	土壌研究室	1	0	1	B	A
178	1	85	車両	小型トラック	LN56RMR	豊田	造研課	サテ+FS		1	0	1	A	A

期年	種別	機材名	形式	メーカー	関連課	管理地1	管理地2	供与	処現	利用	管理			
179	1	85	施設	冷蔵庫	SJ435F	SHARP	造研課	物ラトFS	球倉庫	1	0	1	A	A
180	1	85	実験	上皿電子天秤	LV3000	YAMATO	造研課	物ラトFS	土壤ラホ	1	0	1	B	A
181	1	85	実験	蒸留器	SAO	IKEMOTO	造研課	物ラトFS	土壤ラホ	1	0	1	A	A
182	1	85	実験	デンストメータ	HAD501	平沼	造研課	セトララホ	行ク研究	1	0	1	B	A
183	1	85	実験	実体顕微鏡	UMZ4SA	OLYBUS	造研課	セトララホ	行ク研究	1	0	1	B	A
184	1	85	実験	クロマトビューキャビネット	C70G	FLNAKOSHI	造研課	セトララホ	行ク研究	1	0	1	B	A
185	1	85	実験	恒温振とう水槽	BT25	YAMATO	造研課	セトララホ	行ク研究	1	0	1	B	A
186	1	85	実験	磁気攪拌機	IS36H	IKEDA	造研課	セトララホ	行ク研究	1	0	1	A	A
187	1	85	実験	恒温水槽	BT15	YAMATO	造研課	セトララホ	行ク研究	1	0	1	A	A
188	1	85	施設	流し台	FSD150	YAMATO	造研課	セトララホ	行ク研究	1	0	1	A	A
189	1	85	実験	油回転ポンプ	PD52	YAMATO	造研課	セトララホ	行ク研究	1	0	1	A	A
190	1	85	実験	恒温槽	UNI COOL	EYELA	造研課	セトララホ	行ク研究	1	0	1	A	A
191	1	85	施設	試薬棚	FRG2-180	YAMATO	造研課	セトララホ	育種研究室	2	0	2	A	A
192	1	85	実験	溶液電導率計	CM115	KYOTO	造研課	セトララホ	育種研究室	1	0	1	A	A
193	1	85	実験	穀粒均分器	SHOKURYOCY	DAIKO	造研課	セトララホ	育種研究室	1	0	1	A	A
194	1	85	施設	冷蔵庫	SJ435F	SHARP	造研課	セトララホ	昆虫研究室	1	0	1	A	A
195	1	85	実験	実体顕微鏡	UMZ4SA	OLYBUS	造研課	セトララホ	昆虫研究室	1	0	1	B	A
196	1	85	実験	実体顕微鏡	X-TR	OLYBUS	造研課	セトララホ	樹病研究室	1	0	1	B	A
197	1	85	実験	嫌気培養ジャー	VACU-QUECK	ALMORE	造研課	セトララホ	樹病研究室	1	0	1	B	A
198	1	85	実験	簡易試験管洗浄器	CM35	HIRAYAMA	造研課	セトララホ	樹病研究室	1	0	1	B	A
199	1	85	実験	振とう機	3A31	YAMATO	造研課	セトララホ	樹病研究室	1	0	1	B	A
200	1	85	実験	コロニーカウンター	20-90	IKEMOTO	造研課	セトララホ	樹病研究室	1	0	1	B	A
201	1	85	施設	冷蔵庫	SJ435F	SHARP	造研課	セトララホ	樹病研究室	1	0	1	A	A
202	1	85	実験	実体顕微鏡	VMZ4SA	OLYBUS	造研課	セトララホ	生態研究室	2	0	2	B	A
203	1	85	視聴	カメラ	PRO-A	PENTAX	造研課	セトララホ	生態研究室	1	0	1	E	A
204	1	85	実験	測高器		BLUNELIS	造研課	セトララホ	生態研究室	2	0	2	B	A
205	1	85	実験	デジタル照度計	TI	MINOLTA	造研課	セトララホ	生態研究室	3	0	3	B	A
206	1	85	一般	コンプレッサー	SC62	YAMATO	造研課	セトララホ	生態研究室	1	0	1	B	A
207	1	85	実験	熱風強制循環式乾燥機	YK150	池田	造研課	セトララホ	土壤研究室	1	0	1	B	A
208	1	85	実験	土壌圧縮測定器	DJK-3500	大起	造研課	セトララホ	土壤研究室	1	0	1	B	A
209	1	85	施設	流し台	FSD150	YAMATO	造研課	セトララホ	土壤研究室	1	0	1	A	A
210	1	85	施設	試薬棚	FRG2-180	YAMATO	造研課	セトララホ	土壤研究室	2	0	2	A	A
211	1	85	視聴	カメラ	PRO-A	PENTAX	造研課	セトララホ	土壤研究室	1	0	1	B	A
212	1	85	実験	空気比較式比重計	930	BUCKMAN	造研課	セトララホ	土壤研究室	1	0	1	B	A
213	1	85	実験	電導度計	D5SF	HORIBA	造研課	セトララホ	土壤研究室	1	0	1	A	A
214	1	85	実験	上皿電子天秤	1465MP	SARTORIUS	造研課	セトララホ	土壤研究室	2	0	2	A	A
215	1	85	実験	恒温水槽	BK43	YAMATO	造研課	セトララホ	土壤研究室	1	0	1	B	A
216	1	85	実験	ヒータイングブロック	HF61	YAMATO	造研課	セトララホ	土壤研究室	1	0	1	B	A
217	1	85	実験	超音波洗浄器	220	BRANSON	造研課	セトララホ	土壤研究室	1	0	1	B	A
218	1	85	実験	セミミクロケルタル分解装置	SPC5412-02	SIBATA	造研課	セトララホ	土壤研究室	1	0	1	B	A
219	1	85	実験	V型混合機	V-SA10	IKEDA	造研課	セトララホ	土壤研究室	1	0	1	E	A
220	1	85	実験	種子選別機	757 SEED	SEEDBURO	造研課	セトララホ	土壤研究室	1	0	1	B	A
221	1	85	車両	小型トラック	LN56RMR	豊田	造研課	ラフFS		1	0	1	A	A
222	2	86	車両	防災用水タンク車	EC600 FE17	日野	造研課	物ラトFS		1	0	1	A	A
223	2	86	実験	上皿電子天秤	U3600	SARTORIUS	造研課	物ラトFS	球倉庫	1	0	1	B	B
224	2	86	実験	高速ホモジナイザー	LK-21	YAMATO	造研課	セトララホ	行ク研究	1	0	1	B	A
225	2	86	実験	恒温振とう器	M-1000	TAIYOU	造研課	セトララホ	行ク研究	1	0	1	A	A
226	2	86	実験	低温恒温庫	M210	TAIYOU	造研課	セトララホ	行ク研究	1	0	1	A	A
227	2	86	実験	空気泳動コンスタント	ECPS3000/1	PHARMORIA	造研課	セトララホ	行ク研究	1	0	1	A	A
228	2	86	実験	超音波洗浄器	72H	YAMATO	造研課	セトララホ	行ク研究	1	0	1	A	A
229	2	86	施設	エアコン	FH60NVEF	DAIKIN	造研課	セトララホ	行ク研究	2	0	2	A	A
230	2	86	実験	陽光式低温恒温器	ML-50RS	池田	造研課	セトララホ	育種研究室	1	0	1	B	A
231	2	86	実験	陽光式低温恒温器	ML-50RS	池田	造研課	セトララホ	育種研究室	1	0	1	B	A
232	2	86	実験	大型重量台はかり	100kg	安並	造研課	セトララホ	育種研究室	1	0	1	B	A
233	2	86	実験	上皿式電子分析天秤	J702MP6	SARTORIUS	造研課	セトララホ	育種研究室	1	0	1	A	A
234	2	86	事務	プリンター	LQ1000	EPSON	造研課	セトララホ	研究調整室	1	0	1	A	A
235	2	86	事務	ハードディスク	ZUMB	KVK	造研課	セトララホ	研究調整室	1	0	1	A	A
236	2	86	実験	蛍光顕微鏡	BHS-RFKA1	オリンパス	造研課	セトララホ	樹病研究室	1	0	1	B	A
237	2	86	実験	透過型ノマルスキー微分干渉	BH2NIC2	OLYBUS	造研課	セトララホ	樹病研究室	1	0	1	B	A
238	2	86	視聴	カメラ	EF2	NIKON	造研課	セトララホ	樹病研究室	1	0	1	A	A



期	年	種別	機材名	形式	メーカー	関連課	管理地1	管理地2	供与	処	規	利用	管理	
239	2	86	実験	水ポテンシャル測定装置	LEICA1000	MEIWA	造研課	セトララボ	生態研究室	1	0	1	B	A
240	2	86	実験	ペンタプリズム	62,86	WHEELER	造研課	セトララボ	生態研究室	1	0	1	B	A
241	2	86	実験	定温乾燥機	DS62	YAMATO	造研課	セトララボ	造林研究室	1	0	1	A	A
242	2	86	実験	電子上皿天秤	LV3000	YAMATO	造研課	セトララボ	造林研究室	1	0	1	A	A
243	2	86	実験	自記寒暖湿度計	E141	NICHIRINKY	造研課	セトララボ	造林研究室	2	0	2	B	A
244	2	86	実験	測高器	BL-6	BLUMELEIS	造研課	セトララボ	造林研究室	2	0	2	A	A
245	2	86	一般	チェンソー	53.2CC	KOMATUZENO	造研課	セトララボ	造林研究室	1	0	1	A	A
246	2	86	実験	スケッチマスター	S1145	JENA	造研課	セトララボ	土壌研究室	1	0	1	B	A
247	2	86	動力	電圧安定器	HR224.5	HATSUNAGA	造研課	セトララボ	土壌研究室	1	0	1	A	A
248	2	86	実験	土壌水分計	J-3 SOIL	DAIKI	造研課	セトララボ	土壌研究室	4	0	4	B	A
249	2	86	実験	ホットプレート	RC-2624	UCHI	造研課	セトララボ	土壌研究室	2	0	2	A	A
250	2	86	実験	窒素蒸留装置	370B	UCHI	造研課	セトララボ	土壌研究室	2	0	2	A	A
251	2	86	実験	土壌置換容量測定装置	375	KIYA	造研課	セトララボ	土壌研究室	1	0	1	B	A
252	2	86	車両	小型トラック	LN56R-MR	豊田	造研課	フェリス	1	0	1	A	A	
253	2	87	車両	マイクロバス	LH51RVQRB	豊田	マク課	フェリス	1	0	1	A	A	
254	2	87	車両	ボート	2*10*0.9m		マク課	フェリス	1	0	1	A	A	
255	2	87	実験	長期露測自記雨量計	BR12	NAKAASA	経営部		1	0	1	A	A	
256	2	87	実験	長期自記温湿度計	114	OOTA	経営部		1	0	1	A	A	
257	2	87	実験	風向風速計	A011	NAKAASA	経営部		1	0	1	A	A	
258	2	87	実験	照度計	T1H	MINORUTA	経営部		1	0	1	A	A	
259	2	87	実験	測高器	NAGA MALTI	NICHIRINKY	経営部		2	0	2	A	A	
260	2	87	実験	溶存酸素計	UC100M	CENTRAL	経営部		1	0	1	A	A	
261	2	87	実験	電子天秤	PJ3000	METTLER	経営部		2	0	2	A	A	
262	2	87	実験	ミキサー	MIXER	BATON	造研課	フェリス	1	0	1	A	A	
263	2	87	実験	培養フラスコ振とう器	KM453	KIYA	造研課	セトララボ	育種研究	1	0	1	A	A
264	2	87	実験	微量高速冷却遠心器	CR15B	HITACHI	造研課	セトララボ	育種研究	1	0	1	A	A
265	2	87	施設	冷蔵庫	MPR510R	SANYO	造研課	セトララボ	育種研究	1	0	1	A	A
266	2	87	実験	電気泳動槽	EP1500	HIRANUMA	造研課	セトララボ	育種研究	1	0	1	A	A
267	2	87	実験	超音波ビペット洗浄器	AW31	YAMATO	造研課	セトララボ	育種研究	1	0	1	A	A
268	2	87	実験	全自動デシケーター	DCLH2	IKEDA	造研課	セトララボ	育種研究	1	0	1	A	A
269	2	87	実験	クリーンベンチ	PCH1303AN	YAMATO	造研課	セトララボ	育種研究	1	0	1	A	A
270	2	87	実験	核酸検出装置	YS15300	日科機	造研課	セトララボ	育種研究室	1	0	1	A	A
271	2	87	実験	低温恒温器	1L61	YAMATO	造研課	セトララボ	育種研究室	1	0	1	A	A
272	2	87	実験	自記露湿度計	TRH10A	NIKKON	造研課	セトララボ	昆虫研究室	2	0	2	A	A
273	2	87	実験	噴霧機	HS-353E	MARUYAMA	造研課	セトララボ	昆虫研究室	1	0	1	C	A
274	2	87	施設	エアコン	FHG0HVEF	DAIKIN	造研課	セトララボ	昆虫研究室	1	0	1	A	A
275	2	87	実験	実体顕微鏡	SZH-141	オリンパス	造研課	セトララボ	樹病研究室	1	0	1	A	A
276	2	87	実験	双眼顕微鏡	CHS	OLIMPUS	造研課	セトララボ	樹病研究室	1	0	1	A	A
277	2	87	実験	ソックスレー抽出器	NG62S	NIHONRIKA	造研課	セトララボ	樹病研究室	1	0	1	A	A
278	2	87	実験	発酵槽	H160	TOKYORIKA	造研課	セトララボ	樹病研究室	1	0	1	A	A
279	2	87	実験	低温恒温器	IN81	YAMATO	造研課	セトララボ	樹病研究室	1	0	1	A	A
280	2	87	実験	冷凍乾燥器	DC55A	YAMATO	造研課	セトララボ	樹病研究室	1	0	1	A	A
281	2	87	実験	ファイバー照明装置	FLQ75	OLIMPUS	造研課	セトララボ	樹病研究室	1	0	1	A	A
282	2	87	実験	携帯光合成測定器	KIP8510AB	小糸	造研課	セトララボ	生態研究室	1	0	1	C	A
283	2	87	実験	光合成測定器	HC-A12WS	小糸	造研課	セトララボ	生態研究室	1	0	1	A	A
284	2	87	実験	日射計	MS42	EIKOUSEIKI	造研課	セトララボ	生態研究室	1	0	1	A	A
285	2	87	実験	サンステーションシステム	K70	SYOUKOUTUS	造研課	セトララボ	生態研究室	1	0	1	A	A
286	2	87	実験	デジタル記録計	TR2724	ADVANEST	造研課	セトララボ	生態研究室	1	0	1	A	A
287	2	87	実験	精密恒温器	DF42	YAMATO	造研課	セトララボ	造林研究室	1	0	1	A	A
288	2	87	実験	分析用電子天秤	R1800	SARTORIUS	造研課	セトララボ	土壌研究室	1	0	1	A	A
289	2	87	実験	試料乾燥器	DK63	YAMATO	造研課	セトララボ	土壌研究室	1	0	1	A	A
290	2	87	実験	ウイレー粉砕器	WSX140	KIYA	造研課	セトララボ	土壌研究室	1	0	1	A	A
291	2	87	実験	卓上多本架遠心器	T103H	KOKUSAN	造研課	セトララボ	土壌研究室	1	0	1	A	A
292	2	87	実験	携帯デジタル電導率計	BDK22	CENTRAL	造研課	セトララボ	土壌研究室	1	0	1	A	A
293	2	87	実験	測高器	BL6	KARLTOIS	造研課	セトララボ	土壌研究室	2	0	2	A	A
294	2	87	実験	自記貫入式土壌硬度計	DIK5520	DAIKI	造研課	セトララボ	土壌研究室	1	0	1	A	A
295	2	87	実験	熱風循環乾燥器	BSF13S	ISUZU	造研課	セトララボ	土壌研究室	1	0	1	A	A
296	2	87	車両	小型トラック	LN56R-MR	豊田	造研課	フェリス	1	0	1	A	A	
297	2	87	車両	ボート	1.75*9*0.4		造研課	フェリス	1	0	1	A	A	
298	2	88	車両	四輪駆動車	L200-K34TJ	三菱	マク課	フェリス	1	0	1	A	A	

期年	種別	機材名	形式	メーカー	関連課	管理地1	管理地2	供与	処現	利用	管理
299	2 88	視聴 スライド映写器	CAROUSEL S	KODAK	経営部			1	0	1	A A
300	2 88	視聴 ビクチャー映写器	575AF	KODAK	経営部			1	0	1	A A
301	2 88	実験 自記雨量計	01D	NAKAASA	経営部			1	0	1	A A
302	2 88	実験 反射型実体鏡	3	TOPCON	経営部			1	0	1	A A
303	2 88	実験 プルメライズ	BL6	BLUME LEIS	経営部			2	0	2	A A
304	2 88	車両 四輪駆動車	L200-K34TJ	三菱	造研課	サウトFS		1	0	1	A A
305	2 88	車両 トラック	LMB81FHR	日産デイベ	造研課	サウトFS		1	0	1	A A
306	2 88	車両 トラクター	2120/4ND	フォード	造研課	サウトFS		1	0	1	A A
307	2 88	車両 マイクロバス	52ZVYGE24D	日産	造研課	セトヲヲ		1	0	1	A A
308	2 88	車両 小型トラック	TD25URGD21	日産	造研課	セトヲヲ		1	0	1	A A
309	2 88	実験 高圧滅菌器	SP51	YAMATO	造研課	セトヲヲ	林行研究	1	0	1	A A
310	2 88	実験 倒立顕微鏡	1MT2-21	OLYMPUS	造研課	セトヲヲ	林行研究	1	0	1	A A
311	2 88	実験 PHメーター	F-11	HORIBA	造研課	セトヲヲ	林行研究	1	0	1	A A
312	2 88	事務 パソコン	DESKPRO286	COMPAQ	造研課	セトヲヲ	研究調整室	3	0	3	A A
313	2 88	施設 エアコン	ASUBONJHF	DAIKIN	造研課	セトヲヲ	研究調整室	2	0	2	A A
314	2 88	施設 エアコン	SV60AVEF	DAIKIN	造研課	セトヲヲ	研究調整室	1	0	1	A A
315	2 88	動力 電圧安定器	UPS500VA	FUJUYAMA	造研課	セトヲヲ	研究調整室	3	0	3	A A
316	2 88	実験 ミクロトーム研磨器	MN-72	SAKURA	造研課	セトヲヲ	研究調整室	1	0	1	A A
317	2 88	実験 塩分濃度計	SA10KB	TOA	造研課	セトヲヲ	樹病研究室	1	0	1	A A
318	2 88	実験 樹液流速計	HP-1	HAYASHI	造研課	セトヲヲ	生態研究室	1	0	1	A A
319	2 88	実験 照度計	SP1-6	TOPCON	造研課	セトヲヲ	生態研究室	2	0	2	A A
320	2 88	実験 クロロフィル計	SPAD-501	MINOLTA	造研課	セトヲヲ	生態研究室	1	0	1	A A
321	2 88	施設 中央実験台		RYOKO	造研課	セトヲヲ	造林研究室	1	0	1	A A
322	2 88	施設 サイド実験台		RYOKO	造研課	セトヲヲ	造林研究室	1	0	1	A A
323	2 88	実験 自動葉面積計	AAM-80	HAYASHI	造研課	セトヲヲ	造林研究室	1	0	1	A A
324	2 88	実験 精密電子天秤	1420S	ZARTORIUS	造研課	セトヲヲ	造林研究室	1	0	1	A A
325	2 88	視聴 カメラ	F3	NIKON	造研課	セトヲヲ	造林研究室	1	0	1	A A
326	2 88	実験 往復振とう器	NX22	NISSHIN	造研課	セトヲヲ	土壌研究室	1	0	1	A A
327	2 88	実験 反転攪拌器	R-102	IKEMOTO	造研課	セトヲヲ	土壌研究室	2	0	2	A A
328	2 88	実験 温度データ集積装置	SYSTEM KAD	CORNER	造研課	セトヲヲ	土壌研究室	1	0	1	A A
329	2 88	実験 降水量データ集積装置	SYSTEM KAD	CORNER	造研課	セトヲヲ	土壌研究室	1	0	1	A A
330	2 88	実験 デジタル照度計	T-1H	MINOLTA	造研課	セトヲヲ	土壌研究室	2	0	2	A A
331	2 88	実験 デジタルイオン濃度計	1M20S	TOA	造研課	セトヲヲ	土壌研究室	1	0	1	A A
332	2 88	視聴 スライドプロジェクター	KODAK CARO	KODAK	ミミ課			1	0	1	A A
333	2 89	通信 トランシーバー 1式	PM-7703 VH	PHONEMARK	ミミ課	サウトFS		2	0	2	A A
334	2 89	実験 自記潮位計	W021-00	NAKAASASOK	ミミ課			2	0	2	A A
335	2 89	一般 双眼鏡	CF HP 7X50	NIKON	ミミ課			1	0	1	A A
336	2 89	林業 輪尺 15CM MM単位目盛	15CM	KIYA	ミミ課			6	0	6	A A
337	2 89	林業 輪尺 45CM MM単位目	45CM	KIYA	ミミ課			6	0	6	A A
338	2 89	林業 測高機 1式		KARLZISS	ミミ課			1	0	1	A A
339	2 89	林業 育林産業用継ぎ梯子	6M	TOMOKEASEI	ミミ課			1	0	1	A A
340	2 89	林業 アルミ製箱尺	5M 5JOINTS	KASASHI	ミミ課			3	0	3	A A
341	2 89	一般 仮払機	BC430P6H	KOHATUZENO	ミミ課			3	0	3	A A
342	2 89	事務 電動タイプライター	STARTYPE B	OLYMPIA	ミミ課	ラソFS		1	0	1	A A
343	2 89	通信 トランシーバー 1式	PM-7703 VH	PHONEMARK	ミミ課	ラソFS		2	0	2	A A
344	2 89	一般 ライフジャケット 1式	G-102	WAF	ミミ課	ラソFS		5	0	5	A A
345	2 89	一般 せんでいばさみ	SANDVIK P1	SANDVIK	造研課	サウトFS		20	0	20	A A
346	2 89	林業 枝打ちはさみ	SANDVIK P3	SANDVIK	造研課	サウトFS		10	0	10	A A
347	2 89	林業 枝打ち鋸	SANDVOL B0	SANDVIK	造研課	サウトFS		10	0	10	A A
348	2 89	一般 寒冷紗	60% 2X100M		造研課	サウトFS		10	0	10	A A
349	2 89	資材 肥料	N:P:K:(15:		造研課	サウトFS			0	0	A A
350	2 89	一般 双眼鏡	CFHP 7X W/	BIKON	造研課	サウトFS		1	0	1	A A
351	2 89	実験 ホルモン剤 1式	SERADIX NO		造研課	サウトFS		20	0	20	A A
352	2 89	実験 台計り 1式	1KG		造研課	サウトFS		2	0	2	A A
353	2 89	一般 チェーンソー 1式	40CC 121NC ?		造研課	サウトFS		2	0	2	A A
354	2 89	車両 ビックアップトラック	TOYOTA HI-	TOYOTA	造研課	セトヲヲ		1	0	1	A A
355	2 89	実験 マグミキサー	MD-21	YAMATO	造研課	セトヲヲ	林行研究	1	0	1	A A
356	2 89	実験 洗浄器 1式	AW-47	YAMATO	造研課	セトヲヲ	林行研究	1	0	1	A A
357	2 89	実験 吸引ポンプ	0211-V45M-	CAST	造研課	セトヲヲ	林行研究	1	0	1	A A
358	2 89	施設 実験室用薬品櫃	1200X400/5	RYOKO AND	造研課	セトヲヲ	林行研究	1	0	1	A A

期	年	種別	機材名	形式	メーカー	関連課	管理地1	管理地2	供与	処	現	利用	管理	
359	2	89	施設	実験室用コーナー実験台	1000X1000X	RYOKO AND	造研課	セントラルホ	II 行研究	1	0	1	A	A
360	2	89	施設	実験室用流し台	1200X750X8	RYOKO AND	造研課	セントラルホ	II 行研究	1	0	1	A	A
361	2	89	施設	実験台(大)	1800X750X8	RYOKO AND	造研課	セントラルホ	II 行研究	2	0	2	A	A
362	2	89	施設	実験室用実験台(小)	1200X750X8	RYOKO AND	造研課	セントラルホ	II 行研究	1	0	1	A	A
363	2	89	施設	実験室用椅子	CM-405	RYOKO AND	造研課	セントラルホ	II 行研究	2	0	2	A	A
364	2	89	施設	実験室用肘掛け椅子	CM-061	RYOKO AND	造研課	セントラルホ	II 行研究	1	0	1	A	A
365	2	89	施設	実験室用換気装置	MITSUBISHI	5500	造研課	セントラルホ	II 行研究	1	0	1	A	A
366	2	89	事務	フロッピーディスク 5	HD2-HD 5",	4500	造研課	セントラルホ	7'0"エト室	5	0	5	A	A
367	2	89	一般	ノキス	MITUTOYO 6	MITUTOYO	造研課	セントラルホ	7'0"エト室	13	0	13	A	A
368	2	89	事務	複写機 1式	NP-3325	CANON	造研課	セントラルホ	7'0"エト室	1	0	1	A	A
369	2	89	実験	酸素検出装置 1式	5300	USA YSI	造研課	セントラルホ	育種研究室	1	0	1	A	A
370	2	89	林業	継ぎ梯子	1.5X4 B-6	TOHOEKASEI	造研課	セントラルホ	育種研究室	3	0	3	A	A
371	2	89	実験	受粉袋		TOYORIKOKI	造研課	セントラルホ	育種研究室	250	0	25	A	A
372	2	89	林業	ステップ脱着型木登具		TOMOEKASEI	造研課	セントラルホ	育種研究室	1	0	1	A	A
373	2	89	一般	双眼鏡	CF HP 7X50	NIKON	造研課	セントラルホ	育種研究室	1	0	1	A	A
374	2	89	実験	高度計	TX-22 6000	TOMEN	造研課	セントラルホ	育種研究室	1	0	1	A	A
375	2	89	実験	受粉器		TOYORIKOKI	造研課	セントラルホ	育種研究室	3	0	3	A	A
376	2	89	実験	低温資料保存庫	FPTS 14T 1	TRIGISAIRE	造研課	セントラルホ	育種研究室	1	0	1	A	A
377	2	89	実験	スライドプロセッサースペア	KV-15TR	NATIONAL	造研課	セントラルホ	研究調整室	20	0	20	A	A
378	2	89	施設	ディスクケットキャビネット	FD	UCHIDA	造研課	セントラルホ	研究調整室	1	0	1	A	A
379	2	89	実験	VDTスクリーンフィルター	474-4021	UCHIDA	造研課	セントラルホ	研究調整室	1	0	1	A	A
380	2	89	施設	原稿台	474-1030FB	UCHIDA	造研課	セントラルホ	研究調整室	2	0	2	A	A
381	2	89	施設	ファイルキャビネット	260-9259	UCHIDAYOKO	造研課	セントラルホ	研究調整室	1	0	1	A	A
382	2	89	実験	最高最低温度計ルサフォード		IKEDAKEIKI	造研課	セントラルホ	研究調整室	2	0	2	A	A
383	2	89	実験	乾濕計		TOYAMASHIK	造研課	セントラルホ	研究調整室	2	0	2	A	A
384	2	89	実験	貯水型指示雨量計		OTAKEIKI	造研課	セントラルホ	研究調整室	2	0	2	A	A
385	2	89	実験	3杯風力計		OTAKEIKI	造研課	セントラルホ	研究調整室	3	0	3	A	A
386	2	89	実験	蒸発散計	B-211	NAKAASASOK	造研課	セントラルホ	研究調整室	3	0	3	A	A
387	2	89	実験	ノキス	N-15 150MM	MITUTOYO	造研課	セントラルホ	研究調整室	60	0	60	A	A
388	2	89	林業	輪尺	45CM	DAIKOSANGY	造研課	セントラルホ	研究調整室	30	0	30	A	A
389	2	89	林業	逆目盛り10段測かん	PT-10	SENSHINKOG	造研課	セントラルホ	研究調整室	30	0	30	A	A
396	2	89	一般	間尺	100M	SEKISUI	造研課	セントラルホ	研究調整室	30	0	30	A	A
391	2	89	一般	巻尺	50M	SEKISUI	造研課	セントラルホ	研究調整室	30	0	30	A	A
392	2	89	林業	直径巻尺	5M	DAIKOSANGY	造研課	セントラルホ	研究調整室	30	0	30	A	A
393	2	89	一般	ポケットコンパスレベルトラ	W/TRIPOD L	USHIKATA	造研課	セントラルホ	研究調整室	15	0	15	A	A
394	2	89	施設	コンピュータデスク タイプ	W750XD600X	RYOKO AND	造研課	セントラルホ	研究調整室	6	0	6	A	A
395	2	89	施設	コンピュータデスク タイプ	900X740X74	RYOKO AND	造研課	セントラルホ	研究調整室	6	0	6	A	A
396	2	89	施設	OAデスク	1500X750X7	RYOKO AND	造研課	セントラルホ	研究調整室	1	0	1	A	A
397	2	89	事務	マイクロコンピュータ-LA	WANG PC 38	WANG	造研課	セントラルホ	研究調整室	1	0	1	A	A
398	2	89	施設	エアーコンディショナー 1	FLOOR TYPE	DAIKIN	造研課	セントラルホ	研究調整室	1	0	1	A	A
399	2	89	一般	箱尺	5M		造研課	セントラルホ	研究調整室	1	0	1	A	A
400	2	89	一般	双眼鏡	7X50 CP HP	NIKON	造研課	セントラルホ	昆虫研究室	1	0	1	A	A
401	2	89	実験	バイアルピン 1式	7X2.0 20MM	DAIKOSANGY	造研課	セントラルホ	昆虫研究室	120	0	12	A	A
402	2	89	書籍	MATSUSHIMAT.-MICROFUNGI OF			造研課	セントラルホ	樹病研究室	1	0	1	A	A
403	2	89	書籍	MATHUSHIMAT.-ICONES MICROF			造研課	セントラルホ	樹病研究室	1	0	1	A	A
404	2	89	書籍	MATSUSHIMA T.-MATHUSHIMA M			造研課	セントラルホ	樹病研究室	1	0	1	A	A
405	2	89	書籍	A SIVANESAN,-THE TAXONOMY			造研課	セントラルホ	樹病研究室	1	0	1	A	A
406	2	89	書籍	A SIVANESAN,-THE BITUNICAT			造研課	セントラルホ	樹病研究室	1	0	1	A	A
407	2	89	書籍	DOHSCH K.H.,W.GAMS.-OJAPEN			造研課	セントラルホ	樹病研究室	2	0	2	A	A
408	2	89	書籍	KIRSOP B.E. & J.J.S.SNELL.			造研課	セントラルホ	樹病研究室	1	0	1	A	A
409	2	89	書籍	RAMIREZ CARLOS,-MANUAL AND			造研課	セントラルホ	樹病研究室	1	0	1	A	A
410	2	89	書籍	ROGER PHILLIPS,-MUSCHROOM			造研課	セントラルホ	樹病研究室	1	0	1	A	A
411	2	89	書籍	HILLER JR.ORSOU K.-MUSHROO			造研課	セントラルホ	樹病研究室	1	0	1	A	A
412	2	89	書籍	HOLT, JOHN G.ED.-BERGEY'S M			造研課	セントラルホ	樹病研究室	1	0	1	A	A
413	2	89	書籍	HOKT, JOHN G. ED.-BERGEY'S			造研課	セントラルホ	樹病研究室	1	0	1	A	A
414	2	89	書籍	THE PROKARYTES.(STARR R.P.			造研課	セントラルホ	樹病研究室	1	0	1	A	A
415	2	89	書籍	原色新日本菌類図鑑 I		HOIKUSYA	造研課	セントラルホ	樹病研究室	1	0	1	A	A
416	2	89	書籍	統原色新日本菌類図鑑 II		HOIKUSHA	造研課	セントラルホ	樹病研究室	1	0	1	A	A
417	2	89	書籍	コンパクト版原色キノコ図鑑		HOIKURYUKAN	造研課	セントラルホ	樹病研究室	1	0	1	A	A
418	2	89	書籍	きのこがりの本		HOIKOKOTUK	造研課	セントラルホ	樹病研究室	1	0	1	A	A

期年	種別	機材名	形式	メーカー	関連課	管理地1	管理地2	供与	処	現	利用	管理
419	2 89	書籍	菌類図鑑 上	KODANSHA	造研課	セトヲヲ	樹病研究室	1	0	1	A	A
420	2 89	書籍	菌類図鑑 下	KODANSHA	造研課	セトヲヲ	樹病研究室	1	0	1	A	A
421	2 89	書籍	菌類研究法	KYORITUSHU	造研課	セトヲヲ	樹病研究室	1	0	1	A	A
422	2 89	書籍	キノコの事典	ASAKURASHO	造研課	セトヲヲ	樹病研究室	1	0	1	A	A
423	2 89	書籍	菌類系統分類学	YOKENDO	造研課	セトヲヲ	樹病研究室	1	0	1	A	A
424	2 89	書籍	植物病原菌学	HAKUYUSHA	造研課	セトヲヲ	樹病研究室	1	0	1	A	A
425	2 89	書籍	目で見る菌類の採集と観察	KODANSHA	造研課	セトヲヲ	樹病研究室	1	0	1	A	A
426	2 89	実験	嫌気性菌培養器	IT-62	YAMATO	造研課	セトヲヲ	1	0	1	A	A
427	2 89	事務	製図用ペンセット	805-1200	UCHIDA	造研課	セトヲヲ	1	0	1	A	A
428	2 89	実験	ステンレススチールピーカー	W/HANDLE	TOYOKEIRYO	造研課	セトヲヲ	2	0	2	A	A
429	2 89	実験	ピンセット 1式	K-3	TOYOKEIRYO	造研課	セトヲヲ	5	0	5	A	A
430	2 89	実験	試験管立て 1式	18MM FOR 1	TOYOKEIRYO	造研課	セトヲヲ	15	0	15	A	A
431	2 89	実験	発酵器 (EYELA)	M160E, MOB	TOKYORIKA	造研課	セトヲヲ	1	0	1	A	A
432	2 89	実験	凍結乾燥器 (ヤマトDC-5)	NO.212817	YAMATO	造研課	セトヲヲ	20	0	20	A	A
433	2 89	実験	オートスチル (WS-32)	P/NO.25304	YAMATO	造研課	セトヲヲ	1	0	1	A	A
434	2 89	実験	スプレーフリザー クラリオ	400G	NISSANSHOJ	造研課	セトヲヲ	12	0	12	A	A
435	2 89	実験	ネオクールフリーズドライヤ	DC-55	YAMATO	造研課	セトヲヲ	1	0	1	A	A
436	2 89	実験	試験管 キャップ付き	PPVRES 16X	PYREX	造研課	セトヲヲ	2000	0	20	A	A
437	2 89	実験	サンステーションセンサー	C7A	KYOKKO	造研課	セトヲヲ	20	0	20	A	A
438	2 89	実験	折り畳み式コンテナ	TYPE 50	DAIKOUSANG	造研課	セトヲヲ	20	0	20	A	A
439	2 89	実験	逆日盛検測かん	12M	KANASASHI	造研課	セトヲヲ	6	0	6	A	A
440	2 89	実験	電気伝導度温度濃度計	MODEL. 33	USA YSI	造研課	セトヲヲ	1	0	1	A	A
441	2 89	実験	溶存酸素計	51B	USA YSI	造研課	セトヲヲ	1	0	1	A	A
442	2 89	実験	全天候型測定データ記録装置	KABAC-UP	KONA SYSTE	造研課	セトヲヲ	10	0	10	A	A
443	2 89	事務	スライドファイル	FUJ (200	FUJI	造研課	セトヲヲ	10	0	10	A	A
444	2 89	実験	土壌貫入計	H-100 (長		造研課	セトヲヲ	1	0	1	A	A
445	2 89	実験	乾燥機	DK 83	YAMATO	造研課	セトヲヲ	1	0	1	A	A
446	2 89	実験	乾燥機台 1式	OT-62	YAMATO	造研課	セトヲヲ	1	0	1	A	A
447	2 89	視察	スライドプロジェクター 1	MODEL 1800	CYABIN	造研課	セトヲヲ	2	0	2	A	A
448	2 89	実験	逆日盛検測かん	15M	KANASASHI	造研課	セトヲヲ	2	0	2	A	A
449	2 89	林業	紐き梯子	6M	TOMOIKASEI	造研課	セトヲヲ	3	0	3	A	A
450	2 89	一般	ソーチェンスベア	72DP-64E	KOMATUZENO	造研課	セトヲヲ	5	0	5	A	A
451	2 89	実験	クリノメーター	1515-C	KIYA	造研課	セトヲヲ	2	0	2	A	A
452	2 89	施設	本棚	S-2	RYOKO AND	造研課	セトヲヲ	1	0	1	A	A
453	2 89	施設	スチールキャビネット	SH-756	RYOKO AND	造研課	セトヲヲ	1	0	1	A	A
454	2 89	施設	ファイリングキャビネット	S-13	RYOKO AND	造研課	セトヲヲ	1	0	1	A	A
455	2 89	実験	低温資料保存庫	FPI5 16T 1	FRIGIDAIRE	造研課	セトヲヲ	1	0	1	A	A
456	2 89	実験	PHメーター	L-7LC		造研課	セトヲヲ	2	0	2	A	A
457	2 89	実験	デジタル温湿度計	TRH-CZ	SHINEI	造研課	セトヲヲ	3	0	3	A	A
458	2 89	実験	原子吸光分析用加ト'和ラフ'	103-30 FOR	HITACHI	造研課	セトヲヲ	2	0	2	A	A
459	2 89	実験	ソックスレー脂肪抽出器 1	WB-63	SIBATAKAGA	造研課	セトヲヲ	1	0	1	A	A
460	2 89	実験	土壌団粒分析器	DIK-2000	DAIKIRIKA	造研課	セトヲヲ	1	0	1	A	A
461	2 89	実験	加減圧ポンプ	DIK-9280	DAIKIRIKA	造研課	セトヲヲ	1	0	1	A	A
462	2 89	実験	採土円筒	DIK-1800 1	DAIKIRIKA	造研課	セトヲヲ	10	0	10	A	A
463	2 89	実験	土壌圧膜用半透膜	FOR DIK-35	DAIKIRIKA	造研課	セトヲヲ	5	0	5	A	A
464	2 89	実験	マイクロフィルタ	FM22	FUJI FILM	造研課	セトヲヲ	10	0	10	A	A
465	2 89	実験	日立分光光度計用ガラスセル	HITACHI BR	HITACHI	造研課	セトヲヲ	8	0	8	A	A
466	2 89	実験	PHメーター用ガラス電極	6328-10C	HORIBA	造研課	セトヲヲ	3	0	3	A	A
467	2 89	実験	原子吸光光度計記録用紙	VD-10001-A	HITACHI	造研課	セトヲヲ	2	0	2	A	A
468	2 89	実験	換土器A 小型シャベル	DIK-1670	DAIKIRIKA	造研課	セトヲヲ	5	0	5	A	A
469	2 89	実験	純水製造装置	MA-2	ORUGANO	造研課	セトヲヲ	1	0	1	A	A
470	2 89	実験	イオン交換樹脂	IR-120, IRA	ORUGANO	造研課	セトヲヲ	10	0	10	A	A
471	2 89	実験	NCコンタ用品試薬 1式	POUDER GRA	YANAMOTO	造研課	セトヲヲ	5	0	5	A	A
472	2 89	実験	簡易土壌水分装置 1式	FG-100	KOPARUDENS	造研課	セトヲヲ	2	0	2	A	A
473	2 89	実験	土壌硬度計 山中式平型	YAMANAKA P	YAMANAKA	造研課	セトヲヲ	1	0	1	A	A
474	2 89	実験	低温資料保存庫	70X200X85C	SONGSACK EX	造研課	セトヲヲ	1	0	1	A	A
475	2 89	実験	採土円筒	DIK-1800	DAIKIRIKA	造研課	セトヲヲ	9	0	9	A	A
476	2 89	実験	土壌圧膜用半透膜	FOR DIK-35	DAIKIRIKA	造研課	セトヲヲ	5	0	5	A	A
477	2 89	実験	日立原子吸光光度計用記録紙	NO. VD-1000	HITACHI	造研課	セトヲヲ	2	0	2	A	A
478	2 89	視察	スライドプロジェクター	KODAK CARO	KODAK	造研課	トランプ	1	0	1	A	A

期年	種別	機材名	形式	メーカー	関連課	管理地1	管理地2	供与	処現	利用	管理
479	2 89 事務	電動タイプライター	STARTYPE B	OLYMPIA	造研課	トシFS		1 0 1	A	A	
480	2 89 一般	ライフジャケット 1式	G-102	WWF	造研課	トシFS		5 0 5	A	A	
481	2 89 一般	チェーンソー 1式	40CC 12INC ?		造研課	トシFS		2 0 2	A	A	
482	2 89 通信	トランシーバー 1式	PH-7703 VII	PHONEMARK	造研課	トシFS		2 0 2	A	A	
483	2 90 一般	チェーンソー 1式	40CC 12INC ?		マシ課	トシFS		2 0 2	A	A	

#### 4 プロジェクト関連報告書リスト

報告書表題	言語	備考	報告者
1 Annual report of RFD 1985	Eng.		
2 Annual report of RFD 1987	Eng.		
3 Basic plan for Japan's forest resources and long range demand and supply projection for important forest products	Eng.	中堅	
4 Brush cutter and weeding	Eng.	中堅	
5 Central Forest Research Laboratory and Training Center	Eng.		
6 Chao Phya Pilot Project	Eng.		
7 Check lists of forest insects in Thailand	Eng.		
8 Comparative study on some soil properties and growth of some economic tree species, 1988	Eng.	土壌	Pornpun Jongsulsuntigool, Wilawan Tantiraphan
9 Fertilizer trial on 4 economic tree species (in preparation), Technical Paper, September 1991	Eng.	土壌	Bunyolid Puriyakorn, Pornpun Jongsuksuntigool
10 Facilities, machinery and equipment in 1987/88	Eng.		
11 Fertilizer trial on <i>P. macrocarpus</i> Kurz., The report on technical exchange in Brunei and Indonesia December 1989	Eng.	土壌	Bunyolid Puriyakorn
12 Field progress report of forest management field, RFD-JICA Re-forestation Project	Eng.		Seichi Mishima
13 Forest conservation in Japan	Eng.		
14 Forest fires in Japan and countermeasures	Eng.	中堅	
15 Forest plan of national forests	Eng.	中堅	
16 Forest soils (Unfixed draft)	Eng.	中堅	
17 Forestry mechanization	Eng.	中堅	
18 Forestry statistics of Thailand 1987/88	Eng.		
19 land use planning	Eng.	中堅	
20 Manual of JICA budget system	Eng.		
21 Manual of silviculture in Japan	Eng.	中堅	
22 Manual of silviculture in tropical regions	Eng.		
23 Mechanized nursery operation in Kumata District Forest Office	Eng.	中堅	
24 Outline of forest pests and diseases control project	Eng.	中堅	
25 Outline of forest planning in Japan	Eng.	中堅	
26 Outline of forestry in Japan	Eng.	中堅	
27 Outline of research and extension of forestry in Japan	Eng.	中堅	
28 Pamphlet (English)	Eng.		
29 Pamphlet (old)	Eng.		
30 Photogrammetry and remote sensing in forestry	Eng.	中堅	
31 Protection forest	Eng.	中堅	
32 Reforestation planning and technical guidance	Eng.		
33 Regional training course in community forestry development techniques	Eng.		
34 Report of 1982/1983 implementation	Eng.		
35 Report of 1983/1984 implementation	Eng.		
36 Report of implementation result at Sakaerat Field Station	Eng.		
37 Report of middle level technician training on silviculture technic 1984/1985	Eng.		
38 Report of middle level technician training on silviculture technic 1985/1986	Eng.		
39 Report of middle level technician training on silviculture technic 1987	Eng.		
40 Report of middle level technician training on silviculture technic 1988	Eng.		
41 Report of the Fifth Joint Committee Meeting	Eng.		
42 Report of the First Joint Committee Meeting	Eng.		
43 Report of the Fourth Joint Committee Meeting	Eng.		
44 Report of the Second Joint Committee Meeting	Eng.		
45 Report of the Seventh Joint Committee Meeting	Eng.		
46 Report of the Sixth Joint Committee Meeting	Eng.		
47 Report of the Third Joint Committee Meeting	Eng.		
48 Report on forest soil, Sakaerat Field Station, Research and Training in Re-Afforestation Project, March 1985	Eng.	土壌	Akira Owaki

	報告書表題	言語	備考	報告者
49	Report on implementation results on Sakaerat Field Station, Research and Training in Re-Afforestation Project, July 1987	Eng.	土壤	Hasayuki Iwasa
50	Report on the site classification (Short term expert's report 1984.12)	Eng.	土壤	Tetsusige Kubo
51	Research activities and the progress of Silviculture section in the Project	Eng.		
52	Research activities and the progress of forest ecology in the Project	Eng.		
53	Research activities and the progress of forest soil section in the project, December 1988 (帰国報告書)	Eng.	土壤	Jiro Yoshioka
54	Research report No.1 May, 1989	Eng.		
55	Silvicultural subsidy and loan systems in Japan	Eng.	中堅	
56	Specialized research subject to be transferred technically in 1987	Eng.		
57	Specialized research subject to be transferred technically in 1987	Eng.		
58	Statistics on forest products	Eng.	中堅	
59	Structure and floristics composition of dry evergreen forest with pine	Eng.	生態	T. VISARATANA AND S. NAKAMURA
60	Summary of assistance by Japanese Government at Sakaerat Field Station	Eng.		
61	Technical cooperation for forest research project in Negara Brunei Darussalam	Eng.		
62	Technological system of silviculture in National Forest	Eng.	中堅	
63	Terminology of forest tree breeding and genetics	Eng.	中堅	
64	Text book for forest tree breeding in Japan	Eng.	中堅	
65	Text book for observation tour Obihoro Regional Forestry Branch Office	Eng.	中堅	
66	Thai forestry and forest soil research	Eng.		
67	Thai forestry and forest soil research, Research and Training in Re-Afforestation Project, December 1986	Eng.	土壤	Kazuhiro Ishizuka
68	Thai forestry forest soil research (Appendixes).	Eng.		
69	The Sixth Joint Committee Meeting Report RTRP	Eng.		
70	The forest road regulations	Eng.	中堅	
71	The forest soil in Thailand, Part 1	Eng.		
72	The forest soil in Thailand, Part 1, Research and Training in Re-Afforestation Project, December 1988	Eng.	土壤	
73	The fourth seminar on silviculture, book	Eng.		
74	The fourth seminar on silviculture, book 1	Eng.		
75	The fourth seminar on silviculture, book 11	Eng.		
76	The growth of leguminous tree species and its impact on infertile soil (in preparation) Technical paper September 1991	Eng.	土壤	Bunyald Puriyakorn, Ampai Sirilak, Siripa Phopinit
77	The implementation plans of forest management research in Thailand	Eng.		
78	The implementation plans of forest management research in Thailand	Eng.		Uichi Ando
79	The study in Demonstration Forest	Eng.	中堅	
80	The study in land use changes at Demonstration Forest, Ngao, Lampang	Eng.	中堅	
81	Training course on forest road construction and machine	Eng.	中堅	
82	Training course on re-afforestation	Eng.	中堅	
83	Training course on seedling culture, Class 9	Eng.	中堅	
84	Training course on using micro computer in forestry Class 6	Eng.	中堅	
85	Training of agro-forestry plantation	Eng.		
86	簡易土壤水分測定装置の開発と応用(予定), Research and Training in Re-Afforestation Project, July 1991	Eng.	土壤	Wikhan Anapanurak, 酒井正治
87	土壤個着紙の開発と応用(予定), Research and Training in Re-Afforestation Project, July 1991	Eng.	土壤	Sirirat Boonplian, 酒井正治
88	土壤図: サケラート (Sakaerat) 造林地サイト A 1984.1	Eng.	土壤	吉岡二郎, Wikhan Anapanurak, Wilawan Tantiraphan
89	土壤図: サケラート (Sakaerat) 造林地サイト B	Eng.	土壤	大脇昭, Wikhan Anapanurak, Wilawan Tantiraphan
90	土壤図: ツンサルレン (Thung Saleang Lung) 試験地 (1988.8)	Eng.	土壤	吉岡二郎, Wikhan Anapanurak
91	Cooperation for tomorrow's forest (in Japanese)	Jap.		
92	Pamphlet (Japanese)	Jap.		

	報告書表題	言語	備考	報告者
93	タイ王国林野局 (RFD) 国際協力事業団 (JICA) 造林研究視察計画 (第2フェーズ) 森林経営分野フィールドプロジェクト活動報告書	Jap.		Seiichi Nishima
94	タイ国の自然環境と造林技術の改善 (森林立地xxx(1), 1988)	Jap.	土壌	石塚和裕, Bunyalid Puriyakorn
95	タイ国の林業と森林土壌研究(帰国報告書, 1986.12)	Jap.	土壌	石塚和裕
96	タイ国の林業の現状と造林事業の将来(熱帯林業 NO.11 1988)	Jap.	土壌	石塚和裕, Bunyalid Puriyakorn
97	タイ国サケラート地区の森林土壌-適地適木を目標にした土壌区分の試み- (熱帯林業 第7号1986.9)	Jap.	土壌	吉岡二郎
98	現地土壌調査関係報告書(短専報告書, 1983.5.9)	Jap.	土壌	吉岡二郎
99	Comparative study on some soil properties and growth of <i>Tectona grandis</i> . Technical paper No.6 1988	Thai	土壌	Pornpun Jongsuksuntigool, Wilawan tantiraphan
100	Cooperation for tomorrow's forest (in Thai)	Thai		
101	Forest soil survey and classification at Research and Training of Re-Afforestation Station (Plantation 1985), Amphur Pakthongchai, Nakhon Ratchasima. Technical Paper No. 1 September, 1986	Thai	土壌	Wikhan Anapanurak, Wilawan Tantiraphan, Edom Chawiwannakorn
102	Pamphlet (Thai)	Thai		
103	Progress report of forest soil research (1981-1986), Research and Training in Re-Afforestation Project	Thai	土壌	
104	Soil servey in Huay Tha Forest Experimental Station, Kantraron District, Sri Saket Province, Technical Paper No.7 September 1988	Thai	土壌	Wikhan Anapanurak, Bunyalid Puriyakorn, Somkeit Chapaisaeng, Pitaya Petchmag,
105	Soil survey in Nong Koo gene conservation station, Sang Kha District, Surin Province, Technical Paper No. 3, December, 1986	Thai	土壌	Wikhan Anapanurak, Pornpun Jongsuksuntigool, Somkeit Chapaisaeng, Bunyalid Puriyakorn
106	Soil survey in Ta Toom Forest Experimetal Station, Ta Toom District Suri Province. Technical Paper No.9 October 1988	Thai	土壌	Wikhan Anapanurak, Sirirat Boonplian, Bunyalid Puriyakorn, Somkeit Chapaisaeng, Teichai Promaul
107	Soil survey in Thong Pah Phoom Seed Orchard, Thong Pah Phoom District, Kanchanaburi Province, Technical Paper No.5, September 1986	Thai	土壌	Wikhan Anapanurak, Sirirat Boonplian, Bunyalid Puriyakorn



5 討議議事録 (R/D)

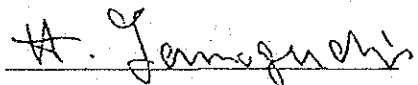
THE RECORD OF DISCUSSIONS  
BETWEEN  
THE JAPANESE IMPLEMENTATION SURVEY TEAM  
AND  
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF THAILAND  
ON  
THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION  
FOR  
THE RESEARCH AND TRAINING IN RE-AFFORESTATION PROJECT (PHASE II) IN THAILAND

The Japanese Implementation Survey Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Dr. Hiroaki Yamaguchi, Director of Research Coordination Division, Forestry and Forest Products Research Institute, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries, visited Thailand from June 10 to June 21, 1986 for the purpose of working out the details of the technical cooperation program concerning The Research and Training in Re-afforestation Project (Phase II) in Thailand.

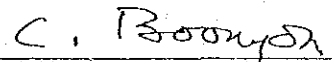
During its stay in Thailand, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Thai authorities concerned in respect of the desirable measures to be taken by both Governments for the successful implementation of the above mentioned Project.

As a result of the discussions, both parties, taking account of the provisions of the Agreement on Technical Cooperation between the Government of Japan and the Government of the Kingdom of Thailand, signed at Bangkok on November 5, 1981, agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto.

Bangkok, June 19, 1986.

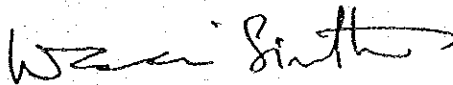


Dr. Hiroaki Yamaguchi  
Leader,  
Japanese Implementation Survey Team,  
Japan International Cooperation  
Agency



Dr. Chumni Boonyobhas  
Director-General,  
Royal Forest Department,  
Ministry of Agriculture and  
Cooperatives

Witnessed by



Mr. Wanchai Sirirattna  
Director-General  
Department of Technical and Economic Cooperation  
Office of Prime Minister

## THE ATTACHED DOCUMENT

### I. COOPERATION BETWEEN BOTH GOVERNMENTS

1. The Government of Japan and the Government of Thailand will cooperate with each other in implementing The Research and Training in Re-afforestation Project (Phase II) in Thailand (hereinafter referred to as "the Project") for the purpose of developing techniques, research and training in re-afforestation so as to promote large scale re-afforestation in Thailand.
2. The Project will be implemented in accordance with the Master Plan which is given in Annex I.

### II. DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will necessary measures through JICA to provide at its own expense services of the Japanese experts as listed in Annex II through the normal procedures under the Colombo plan Technical Cooperation Scheme.
2. The Japanese experts referred to in 1. above and their families will be granted in Thailand the privileges, exemptions and benefits no less favourable than those accorded to experts of third countries working in Thailand under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.

### III. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT

1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to provide at its own expense such machinery, equipment and other materials necessary for the implementation of the Project as listed in Annex III through the normal procedures under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.
2. The articles referred to in 1. above will become the property of the Government of Thailand upon being delivered c.i.f. to the Thai authorities concerned at the ports and/or airports of disembarkation, and will be utilized exclusively for the implementation of the Project in consultation with the Japanese experts referred to in Annex II.

### IV. PROVISION OF SPECIAL MEASURES

For fostering the smooth promotion of the Project, in accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA as follows:

to provide at its own expense travel allowance of training tour, materials to be procured for teaching, training and a part of additional expense within Thailand.

## V. TRAINING OF THAI PERSONNEL IN JAPAN

1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to receive at its own expense the Thai personnel connected with the Project for technical training in Japan through the normal procedures under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.
2. The Government of Thailand will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the Thai personnel from technical training in Japan will be utilized effectively for the implementation of the Project.

## VI. SERVICES OF THAI COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL

1. In accordance with the laws and regulations in force in Thailand, the Government of Thailand will take necessary measures to secure at its own expense the necessary services of Thai counterpart personnel and administrative personnel as listed in Annex IV.
2. As to the Thai counterpart personnel the Government of Thailand will endeavor to allocate the necessary number of suitably qualified personnel corresponding to each Japanese expert to be dispatched by the Government of Japan as specified in Annex II to fulfill the effective and successful transfer of technology under the Project.

## VII. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THAILAND

1. In accordance with the laws and regulations in force in Thailand, the Government of Thailand will take necessary measures to provide at its own expense:
  - (1) Land, buildings and facilities as listed in Annex V;
  - (2) Supply or replacement of machinery, equipment, instrument, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Project other than those provided through JICA under III above;
  - (3) Transportation facilities and travel allowance of Japanese experts for the official travel within Thailand;
  - (4) Suitably furnished accommodations for the Japanese experts and their families.
2. In accordance with the laws and regulations in force in Thailand, the Government of Thailand will take necessary measures:
  - (1) To meet expenses necessary for the transportation within Thailand of the articles referred to in III above as well as for the installation, operation and maintenance thereof;
  - (2) To exempt customs duties, internal taxes and any other charges, imposed in Thailand on the articles referred to in III above;
  - (3) To meet all running expenses necessary for the implementation of the Project.

## VIII. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. The Director-General of the Royal Forest Department will bear overall responsibility for the administrative matters for the implementation of the Project.
2. The Director-General will assign a suitably qualified official as the Project Manager who will be responsible for the administrative and managerial matters of the Project.
3. The Japanese Chief Advisor will provide necessary recommendation and advice on technical and administrative matters concerning the implementation of the Project to the Project Manager.
4. The Japanese Experts will give necessary technical guidance and advice to the Thai counterpart personnel on matters pertaining to the implementation of the Project.
5. There will be close consultation on any matters concerning the implementation of the Project between both sides. For this purpose, the Joint Committee will be established with the functions and composition as specified in Annex VI.

## IX. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

The Government of Thailand undertakes to bear claims, if any arises, against the Japanese experts engaged in the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in Thailand except for those arising from the willful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.

## X. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between the two Governments on any major issues arising from, or in connection with this Attached Document.

## XI. TERM OF COOPERATION

The duration of the technical cooperation for the Project under this Attached Document will be five years from July 29, 1986. However, there will be a general review on the progress of the implementation of the Project during the third year of the cooperation taking into account the measures to be taken by the two Governments in order to decide as to whether the cooperation should be modified for the rest of the period.

## ANNEX I MASTER PLAN

1. The Project Office will be located at the Royal Forest Department in Bangkok. The fields for research will be established if necessary.
2. The Project will advise the Royal Forest Department on developing techniques, research and training in re-afforestation.
3. Items of developing techniques, research and training in re-afforestation.
  - (1) Silviculture
  - (2) Forest Soil
  - (3) Forest Ecology
  - (4) Forest Protection
  - (5) Tree Improvement
  - (6) Forest Management

## ANNEX II JAPANESE EXPERTS

Category	Field
1. Chief Advisor	
2. Experts	1) Silviculture 2) Forest Soil 3) Forest Ecology 4) Forest Management
3. Liaison Officer	

Note: Short-term experts in other related fields may be dispatched when necessity arises.

## ANNEX III LIST OF ARTICLES

1. Machinery, equipment, instruments, spare parts and materials for research and field activities
2. Equipment, instruments, spare parts and materials for training activities
3. Vehicles and their spare parts
4. Other necessary equipment, tools and materials

#### ANNEX IV LIST OF THAI STAFF

Category	Field
1. Project Manager	
2. Deputy Project Manager	
3. Counterpart Experts	1) Silviculture 2) Forest Soil 3) Forest Ecology 4) Forest Management
4. Clerical and Service Employees	
5. Laborers	

Note: The Thai side will assign necessary number of suitably qualified Thai experts corresponding to each long/short term expert to be dispatched from Japan.

#### ANNEX V LIST OF LAND, BUILDINGS AND FACILITIES

1. Land
  - (1) Land for the research fields and related facilities
  - (2) Land for the training fields and related facilities
2. Building
  - (1) The Project Office and related facilities
    - a. Project office
    - b. Laboratories and lecture rooms
    - c. Others
  - (2) Field facilities for research and training
    - a. Field offices
    - b. Laboratories and lecture rooms
    - c. Shed for machinery and equipment
    - d. Field accommodation for Japanese Experts and Thai Counterparts
    - e. Others

## ANNEX VI JOINT COMMITTEE

### 1. Functions

The Joint Committee composed of those members as listed under 2. below will meet at least once a year or whenever necessity arises, and work:

- 1) To review the overall progress of Tentative Implementation Schedule in line with the Master Plan of the Project;
- 2) To review those measures taken by the Government of Japan, i.e.:
  - (1) Dispatch of Japanese experts;
  - (2) Acceptance of Thai counterpart personnel in Japan for training;
  - (3) Provision of machinery and equipment;
- 3) To review those measures taken by the Government of Thailand, i.e.:
  - (1) Allocation of necessary budget ( including local cost expenditure );
  - (2) Allocation of necessary counterpart personnel;
  - (3) Utilization of machinery and equipment provided by the Government of Japan;
- 4) To review and approve the Annual Operation Plan of the Project;
- 5) To recommend to the two Governments on
  - (1) Budgetary matters
  - (2) Recruitment and appointment of Thai counterpart personnel;
  - (3) Selection and effective utilization of machinery and equipment;
  - (4) Appropriate dispatch of Japanese experts;
  - (5) Acceptance of Thai counterpart personnel in Japan for training;
  - (6) Others.

## 2. Composition

### 1) Chairman

Director-General, Royal Forest Department (RFD)

### 2) Members

#### (1) Thai side

- Deputy Director-General for Technical Affairs, RFD
- Director, Silviculture Division, RFD
- Director, Forest Management Division, RFD
- Director, Watershed Management Division, RFD
- Director, National Forest Land Management Division, RFD
- Director, Planning Division, RFD
- Director, Foreign Agricultural Relations Division, Office of the Permanent Secretary for Agriculture and cooperatives
- Representative, Department of Technical and Economic cooperation
- Representative, Budget Bureau
- Representative, Civil Service Commission
- Representative, National Research Council
- Dean, Faculty of Forestry, Kasetsart University
- Chief, Silvicultural Research Sub-division, Silviculture Division, RFD
- Project Manager
- Deputy Project Manager

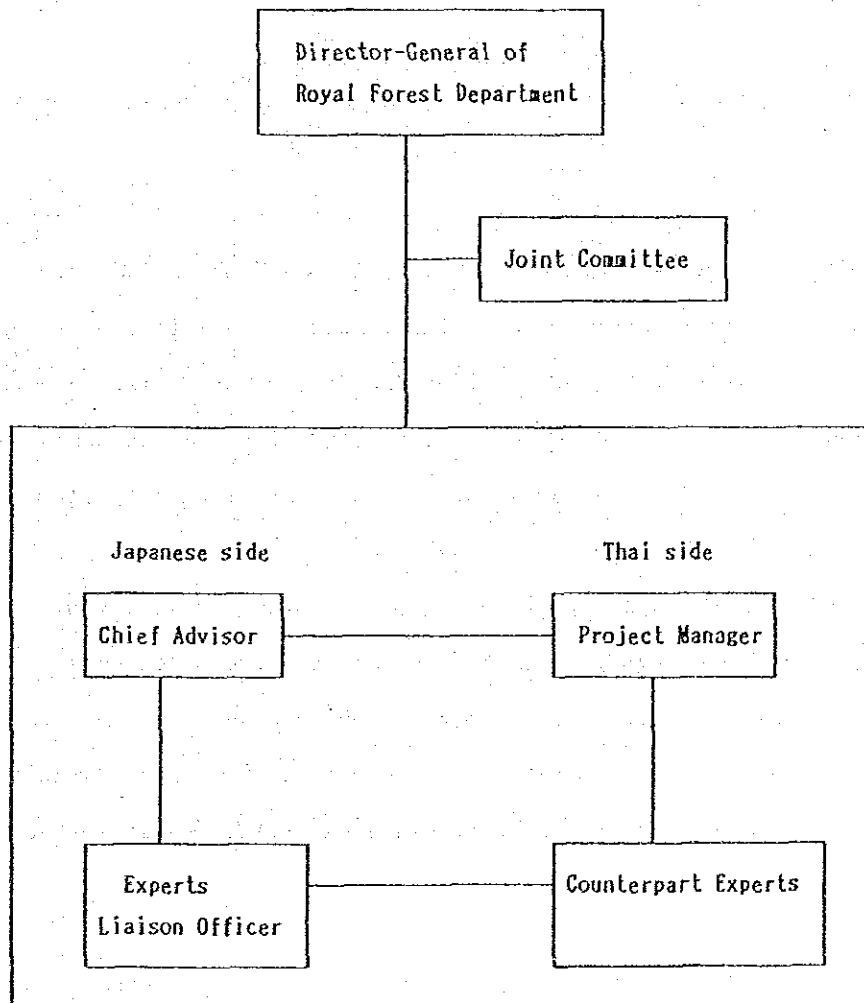
#### (2) Japanese side

- Chief Advisor
- Expert(s) designated by Chief Advisor
- Liaison Officer
- Representative of JICA

- Note:
1. Officials of the Embassy of Japan may attend the meeting of the Joint Committee as observers.
  2. Officials of the Royal Forest Department assigned by the Director-General may attend the Joint Committee as observers.



ANNEX VII ORGANIZATION FOR THE IMPLEMENTATION OF THE PROJECT

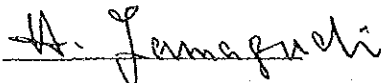


6 暫定実施計画 (T S I)

TENTATIVE IMPLEMENTATION SCHEDULE  
OF  
THE RESEARCH AND TRAINING IN RE-AFFORESTATION PROJECT (PHASE II)  
IN THAILAND

The Japanese Implementation Survey Team and the authorities concerned of the Government of Thailand have jointly formulated a Tentative Implementation Schedule of the Project as annexed hereto. This has been formulated in connection with I-2 of the Attached Document of the Record of Discussions signed between the Japanese Implementation Survey Team and the authorities concerned of the Government of Thailand for the Research and Training in Re-afforestation Project (Phase II) in Thailand on the conditions that necessary budget will be allocated for the implementation of the Project by both sides, and that the above-mentioned Schedule is subject to change within the framework of the Record of Discussions when necessity arises in the course of the implementation of the Project.

Bangkok, June 19, 1986



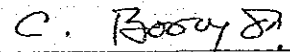
Dr. Hiroaki Yamaguchi

Leader,

Japanese Implementation Survey Team,

Japan International Cooperation

Agency



Dr. Chumni Boonyobhas

Director-General,

Royal Forest Department,

Ministry of Agriculture and

Cooperatives

ANNEX TENTATIVE IMPLEMENTATION SCHEDULE

Item	1986		1987		1988		1989		1990	
	July	July	July	July	July	July	July	July	July	July
I. Japanese Contribution										
1. Dispatch of Experts										
(1) Long-term Experts	↓		↓		↓		↓		↓	
Chief Advisor	↓		↓		↓		↓		↓	
Experts; Silviculture	↓		↓		↓		↓		↓	
Forest Soil	↓		↓		↓		↓		↓	
Forest Ecology	↓		↓		↓		↓		↓	
Forest Management	↓		↓		↓		↓		↓	
Liaison Officer	↓		↓		↓		↓		↓	
(2) Short-term Experts	↓		↓		↓		↓		↓	
(Subject matters, number and duration of these experts will be agreed upon during the operation of the Project)										
2. Training of Thai personnel in Japan	↓		↓		↓		↓		↓	
(Subject matters, number and duration of Thai Personnel to be trained in Japan will be agreed upon during the operation of the project)										
3. Provision of Equipment and Machinery	↓		↓		↓		↓		↓	
4. Dispatch of Missions	↓		↓		↓		↓		↓	
Implementation			Consultation			Guidance			Evaluation	
Survey			General			Review				

Item	Year	1986	1987	1988	1989	1990
		July	July	July	July	July
<u>II. Thai Contribution</u>						
1. Thai Counterpart Staff						
Project Manager		↓	↓	↓	↓	↓
Deputy Project Manager		↓	↓	↓	↓	↓
Counterpart Experts;		↓	↓	↓	↓	↓
Silviculture		↓	↓	↓	↓	↓
Forest Soil		↓	↓	↓	↓	↓
Forest Ecology		↓	↓	↓	↓	↓
Forest Management		↓	↓	↓	↓	↓
Administration Staff		↓	↓	↓	↓	↓
Labor		↓	↓	↓	↓	↓
2. Buildings and Other Facilities		↓	↓	↓	↓	↓
3. Running Cost		↓	↓	↓	↓	↓
(Wages, installation of equipment, etc.)		↓	↓	↓	↓	↓
4. Others		↓	↓	↓	↓	↓

Note : 1. This program is subject to conditions that necessary budget will be acquired for the implementation of the Project.

2. This scope of Technical Cooperation is subject to change within the scope of the provisions given in the Record of Discussions.

3. Regarding buildings and other facilities to be provided by the Thai Government, Those required for operation should be completed in accordance with the progress of Project.

Implementation Plan 1986 - 1991

Division/Laboratory	Research staff	Research title	Period of project					Remark
			87	88	89	90	91	
Silviculture	1. Mr. Pin Kuekool 2. Dr. Pitaya Petmak 3. Mr. Prasert Tiyanon 4. Mr. Vitoon Luengciriyanang 5. Mr. Bopit Kietvuttinon	1. Technique on the Production and management of <u>Xylia kerrill</u> seedlings	////					
		2. Studies on planting techniques of <u>Dipterocarpus alatus</u> by using stumps and seedlings	////	////	////	////		
		3. Planting of <u>Hopea odorata</u> under in stand of various pioneer tree species	////	////	////	////		
		4. Effect of the different number of rows/strips arrangement on the production of tree/crop under the practices of agroforestry system	////	////	////	////		

Implementation Plan 1986 - 1991

Division/Laboratory	Research staff	Research title	Period of project				Remark	
			87	88	89	90	91	
Forest Ecology Laboratory	1. Mr. Kiatkong Pitpreecha (Chief of Forest Ecology Section) 2. Mr. Thiti Visaratana 3. Mr. Somboon Kiratiprayoon 4. Mr. Sarayudh Boonyavejchevin 5. Mr. R. Tabuchi	1. Growth of some domestic economics tree species planted under the canopy of fast-growing species plantation	////	////	////	////	////	
		2. Yield-Density effect of some economics tree species	////	////	////	////	////	
		3. Study on the structure and regeneration of natural forest at Ubonratchathani Gene Conservation Station	////	////				
		4. Study on the structure, primary productivity and dynamics of mangrove forest	////	////	////	////	////	

Implementation Plan 1986 - 1991

Division/Laboratory	Research staff	Research title	Period of project	Remark
Forest Soil Laboratory	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Mr. Boonyarit Puriyakorn</li> <li>2. Ms. Pornpun Jongsuksuntigool</li> <li>3. Mr. Vilhan Anapanuruk</li> <li>4. Ms. Sirirat Boonplian</li> <li>5. Ms. Wilawan Tantiraphan</li> <li>6. Mrs. Siripa Phopinit</li> <li>7. Ms. Ampai Lekavivatankul</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. forest soil survey and soil classification</li> <li>2. The growth of Leguminous tree species and its impact on infertile soil</li> <li>3. Fertilizing trial on 4 economic tree species</li> <li>4. Comparative study on soil properties and growth of some economic tree species</li> </ol>	<p>87 88 89 90 91</p> <p>////</p> <p>////</p> <p>////</p> <p>////</p> <p>////</p>	

Implementation Plan. 1986 - 1991

Division/Laboratory	Research staff	Research title	Period of project				Remark
			87	88	89	90 91	
Forest Management	1. Mr. Jitt Kongsangchai* 2. Mr. Aiplwat Sretarugsa*						
Mangrove Forest Management	1. Mr. Jitt Kongsangchai 2. Mr. Sapon Havanon 3. Mr. Palsarn Tanapermpool 4. Mr. Vipak Jintana 5. Mr. Chalnarong Vithayavong-ruchi	1. Trial on felling system for regeneration  2. Plantation technique	////	////	////	////	
Terrestrial forest Management	1. Dr. Viroj Pimmanrojnanagool 2. Mr. Panuvat Nunthisantikul 3. Mr. Viroj Teratanantorn 4. Mr. Direk Chekruiay	1. Growth and yield assessment of natural forest and man-made forest  2. Study on growth and productivity of tropical forest in the southern part of Thailand	////	////	////	////	

\* Coordinators



Implementation Plan 1986 - 1991

Division/Laboratory	Research staff	Research title	Period of project			Remark			
			87	88	89	90	91		
Tree Improvement Laboratory	1. Mr. Sanan Kingmuangkov 2. Mr. Kamol Wisupakan 3. Mr. Sakonsak Romyarangri 4. Mr. Kovit Somboon 5. Mr. Kamolvat Visetsiri 6. Ms. Pathum Boonaruttee 7. Ms. Wataiporn Tourchop 8. Ms. Rungnapar Vongvijittara	1. Long-term storage of forest tree seeds studies	////	////	////	////	////		
		2. X-ray radiography of teak seeds ( <i>Tectona grandis</i> )	////						
		3. Fruits and seeds storage of <i>PIEROCARPUS MACROCARPUS</i>	////						
		4. Studies on seeds storage of <i>SWEITENIA MACROPHYLLA</i>							
		5. Tetrazolium test as viability assessment of some tropical forest tree seeds	////						
		6. Hormonal effect on the sprouting of some bamboo seedling in vitro							

Implementation Plan 1986 - 1991

Division/Laboratory	Research Staff	Research Title	Period of Research				Remarks
			87	88	89	90	
Biotechnology and Biochemistry Lab.	1. Mr. Pravit Chittachumnonk	1. Development of Micropropagation Techniques for <u><i>A. auriculiformis</i></u> , <u><i>A. mangium</i></u> and <u><i>E. samalindensis</i></u>  2. Comparative Study on Esterase Isozyme from Teak and Pine Plus Trees					
	2. Ms. Natthakorn Semsantad						
	3. Ms. Suchitra Jangtrakul						
	4. Mr. Smith Boonsermsook						
	5. Mr. Piroj Chaitermpongsa						

Implementation Plan 1986 - 1991

Division/Laboratory	Research Staff	Research Title	Period of the Research				Remarks
			87	88	89	90	
Forest Pathology and Soil-Microbiology Laboratory / Forest Protection Research Project	1. Mr. Anivat Chalermpongse	1. Occurrence and distribution of pathogenetic fungi in Pine nurseries  2. Studies on effects of seed-borne fungi on storage duration of some Dipterocarp seeds  3. Microbial aspects of diseases, decomposition and nutrient cycling in mangrove forest ecosystem (trees, soils and waters)  4. Effectiveness and selection of N-fixing acting mycelious frankia strains inoculated with casuarina cutting propagation	N				
	2. Mr. Thirawat Boonthavikun						
	3. Ms. Krisana Pongpanich						
	4. Ms. Amnuayporn Choldum- rongkui						

Implementation Plan 1986 - 1991

Division/Laboratory	Research Staff	Project Title	Period of the Research				Remarks
			87	88	89	90 91	
		5. Studies on cultivation techniques of Shilitake [Lentinus edodes (Berik.) Sing.] on forest tree bolts		<del>    </del>	<del>    </del>	<del>    </del>	

Implementation Plan 1986 - 1991

Division/Laboratory	Research Staff	Research Title	Period of the Research					Remarks
			87	88	89	90	91	
Forest Entomology Lab. Forest Protection Research Project	1. Dr. Chaveevan Itutacharern	1. Study on the moth population of Teak defoliator (Hyblaea puera Cram.) related to its outbreak situation  2. Investigation on natural mortality of Teak defoliator (Hyblaea puera Cram.)  3. Damage to Teak by Hyblaea puera Cram. (Lepidoptera : Hyblaeidae)	<del>    </del>	<del>    </del>	<del>    </del>	<del>    </del>	<del>    </del>	
	2. Ms. Krisan Pongspanich		<del>    </del>	<del>    </del>	<del>    </del>	<del>    </del>	<del>    </del>	
	3. Mr. Surachi Choldumrongkul		<del>    </del>	<del>    </del>	<del>    </del>	<del>    </del>	<del>    </del>	
	4. Mr. Supachote Eungvijarn-panya		<del>    </del>	<del>    </del>	<del>    </del>	<del>    </del>	<del>    </del>	
	5. Mr. Jarueng Kongharern		<del>    </del>	<del>    </del>	<del>    </del>	<del>    </del>	<del>    </del>	

7 終了時評価ミニッツ

MINUTES OF THE JOINT EVALUATION MEETING  
ON THE RESEARCH AND TRAINING IN RE-AFFORESTATION  
PROJECT (PHASE II) IN THAILAND

The Japanese evaluation team, organized by Japan International Cooperation Agency (hereafter referred to as "JICA"), headed by Dr. Masaki Katsuta, Director of Research Coordination Division, Forestry and Forest Products Research Institute, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries, visited the Kingdom of Thailand from February 25 to March 19, 1991 for the purpose of evaluating the Research and Training in Re-afforestation Project (hereafter referred to as "the Project").

The team and the Thai evaluation team headed by Dr. Thanit Yingvansiri carried out the joint evaluation on the Project and held the joint meeting in Bangkok on March 7, 1991.

As the result of the meeting, both sides agreed to summarize the report of the joint evaluation, attached herewith.

Bangkok, March 8, 1991

*M. Katsuta*

Dr. Masaki Katsuta  
Team Leader  
Japanese Evaluation Team  
Japan International  
Cooperation Agency

*Phairot Suvanakorn*

Mr. Phairot Suvanakorn  
Director General  
Royal Forest Department,  
Ministry of Agriculture  
and Cooperatives

THE SUMMARY REPORT OF EVALUATION ON THE RESEARCH  
AND TRAINING IN RE-AFFORESTATION PROJECT (PHASE II)

I. INTRODUCTION

The project has been implemented between JICA and the Royal Forest Department (RFD) of Ministry of Agriculture and Cooperatives based on the Record of Discussions (hereafter referred to as "the R/D") signed on June 19, 1986. The Project started with 5 year cooperation period on July 29th, 1986 continuing its Phase I. Objectives of the Project are developing techniques, research and training in re-afforestation so as to promote a large-scale re-afforestation in Thailand. Before the termination of the Project, a joint evaluation team consisting of Japanese and Thai members carried out an evaluation of the Project. This is a summary report of the joint evaluation findings.

II. EVALUATION

1. Input

Results of the evaluation on input into the Project by Japanese and Thai side are as follows;

i-1. Japanese side

1-1-1. Assignment of Japanese experts

Nine (9) long-term experts in fields of Silviculture, Forest Soil, Forest Ecology and Forest Management, and a Chief advisor and two (2) Liaison officers and seventeen (17) short-term experts have been sent for last five years as of February 1991. They conducted technical transfer in respective research and training fields.

*M. K.*  
*Paul S. ...*

Assignment of Japanese experts was carried out comparatively well under Japanese internal restrictions, such as shortage of researchers and recruitment conditions of Thai requirements.

1-1-2. Acceptance of Thai personnels to Japan

JICA accepted eighteen (18) Thai Project personnels concerned for technical training and observation of Japanese forestry and research works.

This scheme seemed to function well to support the project activities and was accepted favorably by the participants who realized knowledge, know-how and research attitude.

1-1-3. Provision of machinery and equipment

Almost all necessary machinery and equipment provided by JICA have been well utilized and maintained.

Numbers and varieties of equipment increased during the cooperation term. This contributes to the speedy research activities and up-grading the research works.

1-1-4. Other financial supports

For effective and smooth implementation of the Project, JICA bore expenditure of cost on building construction at the RFD's Lampang Demonstration Forest (9 Million Baht) and Kantang Forest Ecology Research Station (2.6 Million Baht) and on the Middle-level Training Program (2 Million Baht) and several seminars.

This results in contribution to establishment of infrastructure for research and extension works and to implementation of training activities.

M. K  
P. S. S. S.



## 1-2. Thai side

### 1-2-1. Allocation of counterparts

Thai side strived allocation of the counterparts at a steady pace, although there seemed to be restrictions of Thai policies and regulations.

### 1-2-2. Land, buildings and necessary facilities

RFD provided necessary facilities such as office, laboratories and experimental sites. But due to Thai budget limitation, the project had to rely on the financial support from JICA to implement certain research and extension activities.

### 1-2-3. Project operation cost

Judging from a trend of Thai budget allocation for the last 4 years, both sides recognized the effort of RFD. In order to maintain the project activities after the termination of the cooperation term, RFD should allocate sufficient budget to continue its own activities.

## 2. Output

Research activities of the Project were carried out under six research items, i.e. Silviculture, Forest Ecology, Forest Soil, Forest Management, Tree Improvement and Forest Protection. Each research item is composed of several research themes. Annual plans are modified and decided by the joint committee composed of representatives from the Thai and the Japanese.

Results of the evaluation and conclusion are as follows;

### 2-1. Silviculture

Four themes were initiated at Phase II for item of

*M. K.*  
*P. Sankar*

silviculture, i.e. (1) Techniques on the production and management of Xylia kerrii, (2) Planting techniques of Dipterocarpus alatus by using stumps, (3) Underplanting of Hopea odorata in the plantation of various pioneer tree species, and (4) Effect of the different number of row/stripe arrange Acacia letocarpa and other four species on the production of tree/crop under the practice of agroforestry system. Two themes were added later, i.e. (5) Thinning and coppice growth in Eucalyptus camaldulensis plantation, and (6) Annual net production rate, seasonal growth and litter fall patterns in six tree species.

An expected performance has been steadily obtained from those themes, and three themes, i.e. (1), (2) and (3) were completed in this term.

Emphasis was put on the fundamental study of silviculture. Annual net production and seasonal changes of growth and litter fall were made clear in several plantations of fast-growing tree species including some pine species, and also daily or seasonal changes of photosynthetic active radiation were estimated in various spacing of plantation.

The main themes should be concentrated, if expanded, on analyzing the underplanting and tending methods on domestic economic tree species in the plantation of pioneer species.

## 2-2. Forest Ecology

Four themes were carried out for the item of Forest Ecology, i.e. (1) Growth of some domestic tree species planted under the canopy of fast-growing tree species plantation, (2) Study on the structure and regeneration of natural forest at the

M. K.  
P. S. S. S.

Ubon Ratchathani gene conservation station, (3) Study on the structure, primary productivity and dynamics of mangrove forest and (4) Yield-density effect of some economic tree species.

The adaptability to light conditions in underplanting test-site and under artificial light control on several domestic economic tree species was clearly analyzed, and also the regeneration mechanism in natural forest of some Rhizophora species was intensively studied.

All themes with test-site are necessary to be continued further more by Thai counterparts as core.

However, the environmental adaptability in domestic economic tree species and the management system of mangrove natural forests should be conducted in close connection with the related themes of other items, i.e. Silviculture and Forest Management.

### 2-3. Forest Soil

Seven themes were carried out at Phase II for the item of Forest Soil, i.e. (1) Forest soil survey and classification in some silvicultural research stations, (2) The growth of leguminous tree species and its impact on infertile soil, (3) Fertilizer trial of 4 economic tree species, (4) Comparative study on soil properties and growth of some economic tree species, \*(5) Research to select the suitable site for economic tree species, \*(6) Determination of soil properties under mangrove forest and \*(7) Fertility of forest soil solution under the different tree species. \*(5), \*(6) and \*(7) were added by the sixth joint committee meeting.

Two themes, i.e. (1) and (4) were completed in this term and

M. E.  
P. S. 12/2/74

three themes, i.e. (2), (3) and (6) will be completed in 1991.

Forest soil survey and classification of silvicultural research center were carried out at five stations. Informations of chemical and physical soil properties as the bases on suitable plantation activities and forest management were given.

Relationships between soil properties and growth of five economic tree species were closely connected with some chemical properties, i.e. exchangeable Ca and cation exchangeable capacity(C.E.C).

Techniques of field survey and soil sample analysis were also transferred from Japanese experts to Thai counterparts.

However, collected soil samples were analyzed insufficiently in Forest Soil Laboratory, because main analytical equipments, Atomic Absorption Spectrophotometer and C-N Coder, were broken and personnels decreased. Incompleted themes, i.e. (5) and (7), should be conducted in close connection with the related themes of other items.

#### 2-4. Forest Management

Four themes were provided at the beginning of Phase II, but some themes were revised and added. So, eight themes are carrying out now. Four themes are for the items of mangrove forest management, i.e. (1) Trial on felling system for regeneration in mangrove forest, (2-1) Plantation technique in mangrove forest management -Natural mangrove forest treatment for seed production forest management, (2-2) Plantation technique in mangrove forest management -Species trial in high tide area-, and (2-3) Plantation technique in mangrove forest management -Spacing and thinning

M. K.  
A. Sankha

trial on economic mangrove species.

Four themes are for inland forest management under the large theme of "Growth and yield assessment of natural forest and man-made forest", i.e. (4-1)Growth assessment of natural forest in northern part of Thailand, (4-2)Survey on forest fire protection treatment effect for regeneration and growth in Dry Dipterocarp forest, (4-3)Survey on natural forest tending for regeneration and growth in disturbed mixed deciduous forest, and (4-4)Teak plantation thinning experimentation. Adding to those themes, one another theme, (3) Study on growth and productivity of tropical forest in southern part of Thailand was existed, but this was stopped by some reasons, such as unfavorable research conditions, shortage of man power/budget and others.

To accomplish the experiment, to make an experiment design and to set up the field plot with suitable treatment are the important factors. Especially, existence of well designed permanent plot is very important. Several suitable experiment plot are already established for each project themes, respectively. Standing tree survey, marking of individuals, thinning, planting were done in some plots and observations are being carried out by staffs. As it took time to find suitable experimental area and occurring other urgent works, the start of those themes were delayed and obtained results are a few now. But observations and experiments are steadily practiced. Those experiments should be kept to study further more. Research techniques and informations should be exchanged with researchers of Forest Ecology and Silviculture.

M. K.

R. S. S. S.

## 2-5. Tree Improvement

Seven themes exist for Tree Improvement, i.e. (1) Long-term storage of forest tree seeds studies -Long-term storage of bamboo seeds Thyrsostachys siamensis-, (2)X-ray radiography of teak seeds, germination test of different size and number of seed per fruit of teak, (3) Seed storage of Pterocarpus macrocarpus, (4)Studies on seed storage of Swietenia macrophylla, (5-1)Tetrazolium test as viability assessment of some tropical forest tree seeds -Tectona grandis-, (5-2)Tetrazolium test as viability assessment of some tropical forest tree seeds - Dalbergia cochinchinensis- and (6)Hormonal effect on the sprouting of some bamboo seedlings in vitro. Those seven themes are already completed.

Seven themes were studied for the item of biotechnology, i.e. (1)Development of micro-propagation techniques for Acacia auriculiformis, A. mangium and Eucalyptus camaldulensis, (2)Comparative study on esterase isozyme from teak and pine plus trees, (3)Micropropagation on Pterocarpus macrocarpus and Cotylelobium melanoxylon via tissue culture technique, (4)The determination of clonal identification in Acacia auriculiformis and A. mangium by isozyme, (5)Pollen morphology and variation in isozyme pattern of Azadirachta indica and A. indica var. siamensis, (6)The determination of hybrid between Dipterocarpus intricatus and D. tuberculatus by isozyme, and (7)Relationship between light and photosynthesis in Dipterocarpus alatus seedling. Those seven themes are already completed.

## 2-6. Forest Protection

Five themes are carried out for item of Forest Pathology,

M. K.  
R. G. S. K.

i.e. (1) Occurrence and distribution of pathogenic fungi in pine nurseries, (2) Studies on effects of seed-borne fungi on storage duration of some dipterocarp seeds, (3) Microbial aspects of diseases, decomposition and nutrient cycling in mangrove forest ecosystem, (4) Effectiveness and selection of N-fixing Actinomycetous Frankia strains inoculated with Casuarina cutting propagation, and (5) Studies on cultivation techniques of shiitake on different forest tree sawdust wastes. Four of them, (1), (2), (4) and (5), were reported by C format and the other one will be completed by the termination.

Four themes are studied for the item of Forest Entomology, i.e. (1) Study on the moth population of teak defoliator related to its outbreak situation, (2) Investigation on natural mortality of teak defoliator Hyblaea puera, (3) Damage to teak by defoliators, and (4) Bionomics and rearing procedures of the beehole borer.

Research results during phase II will be reported by the termination. But further studies will be needed to get effective results to solve the insect attack problem. Especially, studies on control techniques through the ecological and physiological behavior of teak beehole borer, moth defoliator and others are important.

#### 2-7. Sakaerat Field Station

Three sections, i.e. Plantation section, Nursery section, and Forest soil section have totally 13 themes. Among those themes, 8 themes were already reported by C format at the previous joint committee and the other 5 themes will be resulted

M. K.  
R. Sankaran

by the termination. Adding to those researches, re-afforestation, road construction, agroforestry trial, joint researches and training activities are conducted. For promotion of Sakaerat field station activities, further budget allocation will be expected.

#### 2-8. Training

Training course provides 6 courses for professional level courses, i.e. (1)Plantation, (2)Nursery, (3)Forest road, (4)Agroforestry, (5)Computer, and (6)Soil and Fertilizer. Two other level courses, Ranger and Foreman, are also conducted and those two courses are provided same courses except Soil and Fertilizer course. Trainees are widely recruited such as RFD, other department office, non government organization, private company and others. Forty-four classes were held from 1985 to 1990. and total participants are amounted to about 1,500. And also from the final year of Phase II, new training course has been begun under the financial support by JICA. This training to promote the research activity is now going on and total course will be 6 and total participants will be 120. Thai side has expected that this training would be continued.

#### 3. Accomplishment of the project master plan

The objectives of the Project Master Plan which mentioned in the R/D were to improve and to expand techniques, research and training in re-afforestation so as to promote a large-scale re-afforestation in Thailand.

According to the chapters of Input and Output on this

M. K.  
P. Sankar



document, the transfer of technology on the techniques, research and training in re-afforestation has almost been accomplished except for some research subjects. During the implementation of the Project, more than 120 research papers were published as the results of research activities. The team recognized that almost all the basis of research activities have been established, and the objectives of the Project is being accomplished gradually.

On the other hand, the team observed that the Project began to have some impacts on the promotion of re-afforestation to outside of the Project through the seminars and the training activities which has implemented so far. The team recognized that the final objectives of the Project are still half a way. Because, in general, the fruits of research and training activities are accomplished slowly.

#### 4. Expectation of self-sustainability

As long as RFD allocates necessary amounts of budget to the project, the existing research and extension systems may function after the termination.

### III. CONCLUSION AND RECOMMENDATION

Considering the results of joint evaluation and the Thai side proposal for accomplishment of the project objectives, it is desirable to continue the project in certain research subjects in order to complete the performance of research and training cooperation in the present term, thus contributing to implementation and promotion of re-afforestation program in Thailand.

A great contribution of Thai side to the project, including

M. K.  
A. S. S.

counterparts and research budget, has been made to develop the project activities. As result of that, an excellent performance has been steadily obtained almost in the research and training aspects.

However, many important research subjects are now in progress. For that reason, it is necessary to continue research activities for more necessary period. Also, it is desirable to systemize project activities in the extended period.

Taking into account the various aspects of achievements of the project performance and the Thai side proposal to the project, it was concluded that the research activities of the project should give high priority on the following research subjects which are now undergoing in the present implementation plan .

(1) Fundamental study for developing the tending techniques in plantations, such as thinning, branch pruning and so on, and study for making mixed or multilayered forests by introducing domestic economic tree species.

(2) Study for establishing management system in northern natural forests and southern mangrove forests.

(3) Basic and applied research for preventing the damages caused by insects and diseases in main planting tree species, and for establishing the prediction method of those damages

In the supplementary cooperation period, training courses and seminars supported by Japanese side should be progressively promoted, and also the techniques and research results obtained by the Project should be extensively performed by publications or other information systems.

*M. K.  
P. S. S.*

## 8 評価アンケート結果及び質問書フォーム

質問書は事前に各研究分野に手渡し、記入後面接時に回収した。回答は9分野からであり、主に各分野の責任者が記入している。以下に、回答の要旨を示す。

### 質 問 書

#### 1. 研究活動について

##### 1.1 現在の研究課題または本案件(1986-1991)におけるあなたの役割は何か？

内容省略（本文参照）

##### 1.2 本案件の実施期間中に達成したことは何か？

内容省略（本文参照）

##### 1.3 新しい技術を何か開発したか？

肯定 : 9

内容省略（本文参照）

##### 1.4 終了時に何か問題があったか？

肯定 : 4

否定 : 4

無解答 : 1

一部の研究活動はスムーズには進展しなかった。

一部の研究機材は能率が低かった。

森林土壌分野の研究要員は、土壌学の専門家ではなく多くは林学の専門家であり、土壌分野は人気がない。

樹病の種同定において問題があった。

チークピーホールボラーの研究課題は継続されるべきである。

本案件の実施期間は、専門家の派遣期間と共に延長されるべきである。

今までは問題なかったが、新規の研究活動では造林研究課からの財政的支援で多少問題がある。

1.5 研究成果を出版物または科学的な会合で発表したことがあるか？

肯定 : 7

否定 : 2

否定のうち1回答は、研究課題が終了後にレポートの出版を予定している。

1.6 いくつのレポートを発表したか？

最高 : 5編

最低 : 0編

平均 : 2.6編

1.7 他の研究要員または技術者と研究交流のための会合を持ったことがあるか？

肯定 : 8

否定 : 1

1.8 本案件におけるあなたの研究活動の達成度をA-E段階（A：最高-E：最低）で評価するとどうなるか？

A : 1

B : 6

C : 1（最終的にはB）

A-C : 1（研究課題による）

1.9 新しい研究課題を計画したか？

肯定 : 9

1.10 本案件における経験を他の案件に適用したいか？

肯定 : 9

## 2. 研究活動の促進について

2.1 本案件の実施組織は、研究活動の促進にとって適切かつ有効であるか？

肯定 : 6（非常に ; 4、少なくとも ; 2）

否定 : 1

無解答 : 2

技術的に非常に有効である。

実施組織自体は研究活動を促進するのに適切かつ有効であるが、タイ側内および日本側との問題解決のための会合が非常に少なく、管理運営は不適切である。

一般住民に対する研究の普及が不十分である。

## 2.2 現在、各研究分野に対する支援は十分あるいは不十分か？

予算 : 十分 ; 4、 不十分 ; 4、 無回答 ; 1

要員 : 十分 ; 4、 不十分 ; 3、 無回答 ; 2

その他 : 十分 ; 1、 不十分 ; 3、 無回答 ; 5

予算は日本側の支援を含めれば十分である。

訓練および研究活動によって、より多くの知識と経験を獲得することが可能である。

研究活動の形態を変更しなくてはならない。

森林土壌分野では高額機材の使用に問題があり、技術、経験が不足している。

林木育種分野ではJICAの要員および専門家の技術協力が不足している。

機材および車輛が不足している。

## 2.3 もしも、本案件が継続する場合、農業協同組合省から予算、要員、その他の附帯支援が期待できるか？

肯定 : 6

否定 : 2

無解答 : 1

継続的な支援には何等問題はない。

高額機材への経済的支援が必要である。

高額機材への支援は難しい。

支援を期待するのには、非常に良い機会である。

## 2.4 本案件は継続的に長期研究計画を作成することができるか？

肯定 : 9

## 2.5 あなたの研究分野において、研究活動を継続するのに制限となることはあるか？

肯定 : 2

否定 : 7

研究予算の不足は制限要因である。

2.6 もしも、JICAが技術協力計画において、将来の計画を援助することが可能であれば、どのような協力が有益であるか？

今までと同様の援助支援。

研究予算と研究要員の増強。

知識と経験を得るための訓練および研究活動。

若手研究要員の水準向上。

訓練コースの活用。

日本における研究訓練または高等教育。

供与機材の効果的な活用のための訓練。

長期専門家の派遣と専門家との協同研究活動。

林地評価と土壌水研究の日本人専門家への委託。

研究協力および調査視察の交流。

3. 本案件に対する個人的印象について

3.1 本案件をどう思うか？

非常に良い : 5

良い : 3

一部良くない : 1

タイの造林においては多くの解決すべき、改善すべき問題が多いため良い。

タイの研究要員の造林技術に関する研究熟達度を向上させたため良い。

カウンターパートと専門家が協同で働くことができ、技術、経験、文化、友情などの交流ができたため良い。

経験、知識などの多くの便益を得ることができたため良い。

本案件の目的は有益であるが、組織の運営および試験区の設定は良くない。

3.2 本案件は成功しているかあるいは失敗しているか？

成功 : 5

一部成功 : 4

王室林野局で一番成功している活動の一つである。

一部は成功しているが、援助協力がさらに必要である。

3.3 本案件において活動を継続したいか？ それほどの理由によってか？

肯定 : 9

本案件は非常に有益であるため継続したい。

本案件を成功させたいため継続したい。

調査すべき課題が多くあるため継続したい。

造林のための森林土壌に関する研究の経験を積みたいため継続したい。

植栽間隔-収量の関係に関する情報が得られるため継続したい。

化学と物理に関する研究課題の技術的情報が必要なため継続したい。

一部の研究課題は造林研究課からの支援を受けられなかったので、日本からの支援が必要であり継続したい。

3.4 将来の計画を何か作成しているか？

肯定 : 9

3.5 本案件への日本からの技術協力に対して何か提案はないか？

本案件は非常に有意義である。

相互の便益をより共有されるべきである。

可能ならば、専門家派遣は要請どおりに実施してもらいたい。

森林経営の専門家の派遣期間を延長すべきである。

機材供与は非常に重要であり、効果的に活用する必要がある。

日本での研修により、研究要員の経験を発展させる。

試験区の大きさの設定を変更しなくてはならない。

4. 本案件の効果について

4.1 本案件はどこへ効果を与えたか？

王室林野局の要員の訓練と新技術の導入に効果を与えた。

造林研究課の研究要員と研究機材の技術能力の向上に効果を与えた。

人材の質的向上を含む、全ての林業分野に効果を与えた。

タイにおける造林技術の進歩に効果を与えた。

チーク植林家に効果を与えた。

天然林および自然林に効果を与えた。

効果は与えていない。

#### 4.2 効果は肯定的、否定的あるいは無視できる程度のものであるか？

肯定的 : 8  
否定的 : 1

#### 4.3 どの種の効果があったか？ (複数回答)

技術的 : 4  
制度組織的 : 2  
経済的 : 1  
社会文化的 : 1  
環境的 : 1  
その他

チーク植林の安全性。今後の応用価値。

否定的 : 1  
無回答 : 1

#### 4.4 技術的效果は？

肯定的 : 5  
否定的 : 2  
無視できる程度 : 1  
無回答 : 1

造林研究課の研究要員と研究機材の技術能力が向上した。

研究要員の研究活動が改善された。

多くの技術的経験を得た。

効果は研究計画と試験区設定から発生するものであり、試験区は均一ではないのだから、真の技術的效果はない。

#### 4.5 制度組織的效果は？

肯定 : 6  
否定 : 1  
無解答 : 2

デモンストレーション・フォレストの施設は、JICAの援助によって設立された。

より多くの情報と研究の重要性を認識することができた。

組織的に害虫問題が注目されるようになった。



#### 4.6 経済的効果は？

肯定 : 4

否定 : 4

無解答 : 1

低所得層の雇用機会の創出が期待できる。  
研究成果の応用がないため効果はない。

#### 4.7 社会文化的効果は？

肯定 : 3

否定 : 4

無視できる程度 : 1

無解答 : 1

地域住民、特に低所得層の生活水準の向上が期待できる。

#### 4.8 環境的効果は？

肯定 : 4

肯定に成りつつある : 2

否定 : 2

無解答 : 1

大規模造林の促進と確立に貢献する。  
本案件に植林が含まれている限り効果がある。  
本案件の効果は、植林の利点と国民により多くの植林を説得させることであり、大規模造林が実施されなければ効果はない。  
試験区が小さいので効果はない。

#### 4.9 その他の効果は？

肯定 : 1

否定 : 6

無解答 : 2

人々が研究活動を重視するようになった。

#### 4.10 本案件の受益者はだれか？ (複数回答)

王室林野局 : 3

5.3 本案件によって何が改善されたか？ どの分野で達成されたか？

木材生長の研究活動。

フェロモンの研究。

森林樹病、菌根、木材腐朽菌の研究。

苗床と木材生長の技術。

苗圃、植林、林道、森林土壌などの技術。

確認するには時期尚早である。

5.4 なにが改善されなかったか？ どの分野で達成されなかったか？

シイタケおよびその他の食用野生茸栽培、土壌微生物学の研究。

林木育種、種子発芽、アグロホレストリーなどの技術。

何もない。

確認するには時期尚早である。

5.5 本案件を100満点で評価すると何点になるか？

最高 : 100

最低 : 40

平均 : 73

5.6 本案件を継続する必要があるか？

肯定 : 9

1 回答は、現在存在する問題が解決、改善された場合、という前提付きである。

5.7 本案件を成功裡に進展させるために、将来計画に対して何か助言はないか？

研究活動は造林分野だけでなく、全ての研究課題と関連すべきである。

予算、要員の不足を改善し、日本での研修による研究要員の水準向上をめざす。

より多く現場で専門家に指導を受けたい。

長期専門家および現地調査用の車輛が必要である。

マングローブ研究において、カニの害を防止する材料を使用して、実生苗の活着率を上げる。

タイにおけるハラタケ分類、野生茸およびシイタケ栽培に関する研究を実施する。

研究活動に参加しただけなので、助言する立場ではない。

研究要員 : 2

タイ政府 : 2

その他

政府高官、日本政府、JICA、林業公社、林業林産研究所、カセサート大学林学部、FAO、チーク植林の民間部門、地域住民

#### 4.11 本案件からの効果は新規の林業研究の発展と普及に適合するか？

本案件では研究要員と研究機材の技術能力を改善したのだから、新規研究の発展と普及に適合するのは当然である。

本案件は多くの林学研究者に寄与しているので、新規の研究にも適合する。

我々は多くの分野で適合する。

地域住民の生活水準を改善し、一般国民への国土保全の意識を植え付けると同時に研究要員により多くの知識を獲得する意欲をおこさせるために適合する。

チークの害虫研究に適合する。

林業試験場を大至急に設立する必要がある。

試験区の設計と調査が可能な有能な人材が必要である。

#### 5. 本案件の現在評価について

##### 5.1 本案件の目的と目標を知っているか？ それは何か？

造林活動における研究と訓練および技術を開発する。

大規模造林の技術と体系を科学的、効果的に研究開発する。

大規模造林の促進、それへの技術提供および研究計画を改善をする。

造林研究訓練センターを確立する。

造林研究訓練センターを設立し、政府および民間部門の担当者を訓練する。

ヒルギ科の植栽密度効果の決定および高潮位地域での種生長を決定する。

伐採および造林による環境体系の変化を調査する。

継続安定した収量による森林経営および政府と民間部門に有用な新技術を促進する。

最も効果的な運用を導くために、造林投資の全ての要因を調査する。

相互の便益の分配および相互の経験と理解を交換する。

##### 5.2 本案件に従事したことに満足しているか？

肯定 : 9

#### 5.8 本案件を将来継続させるために何が重要か？

十分な予算を確保する。

王室林野局とJICAの要員を確保し、専門家の技術指導を受ける。

日本からのより多くの経験と技術を導入し、知識を獲得する。

タイ側の将来計画に参加する。

アグロフォレストリー、保全用植林、林木育種を導入する。

フェロモン研究の長期専門家を受け入れる。

研究活動を植林家の要求するものと適合させると共に、将来必要とされる研究活動を実施する。

#### 6. その他、本評価に対する重要事項は何か？

本案件は継続されるべきである。

本評価の重要性は非常に明確である。

部門、研究課題によっては開始されたばかりのものがあるので、評価するには時期尚早である。

#### まとめ

長期専門家の派遣された研究分野とされなかつた分野とでは、本案件の全体および各自の分野に関する認識に違いがある。一般的に前者は満足しており、後者は協力の不足を指摘しているものが多い。

QUESTIONNAIRE  
EVALUATION ON  
THE RESEARCH AND TRAINING IN RE-AFFORESTATION PROJECT (PHASE II)  
IN THAILAND

Name : \_\_\_\_\_ Position : \_\_\_\_\_

1. On your research activities.

- 1.1 What is your present research subjects or part on this project (1986-1991) ?
- 1.2 What success have you achieved during this project term ?
- 1.3 Have you developed any new techniques ?
- 1.4 Have you had any problems at termination ?
- 1.5 Have you offered your research results on an official paper or at a scientific society ?
- 1.6 How many reports did you offer ?
- 1.7 Have you had any meetings to exchange information with other researchers and technicians ?
- 1.8 How would you rate the degree of achievement of your research activities on this project on the rank of A,B,C,D,E, (which A is best and E is poor) ?

1.9 Have you planned new research subjects ?

1.10 Do you want to use your experience on this project to other projects ?

2. On the promotion of the research activities.

2.1 How do you think the organization of this project is suitable and effective to promote research activities ?

2.2 Is the support on the areas sufficient or insufficient at present, regarding budget, personnel and others ?, and what is the reason ?

Budget :

Personnel :

Others :

Reason :

2.3 Is it possible to expect any additional supports (budget, personnel and others) from the ministry in case this project continues ?

2.4 Do you think the organization of this project can make continuously the long-term research plans ?

2.5 Are there any constraints to continue your research activities on your organization ?

2.6 If JICA can assist your future plans under the technical cooperation program, what kind of cooperation would be useful to you ?

3. On your personal impression on this project.

3.1 How do you think about this project ?

3.2 Is this project successful or unsuccessful ?

3.3 Do you want to continue your activities on this project ?,  
and what is the reason ?

3.4 Do you have any plans for the future ?

3.5 Do you have suggestions for the technical cooperation from  
Japan to this project ?

4. On the impacts from this project.

4.1 Where did you think this project gave impacts to ?

4.2 Do you feel or observe the impacts are positive, negative or  
negligible ?

4.3 What kind of impacts did you feel ?

4.4 How about any technical impacts ?

4.5 How about any institutional impacts ?

4.6 How about any economical impacts ?

4.7 How about any socio-cultural impacts ?

- 4.8 How about any environmental impacts ?
- 4.9 Were there any other impacts that you could observe ?
- 4.10 Who were the beneficiaries from this project that you could observe ?
- 4.11 How about the impacts from this project will be adapted on development and extension of new forest research ?
5. On the present evaluation of this project.
- 5.1 Do you know the purpose and goal of this project ? and what are they ?
- 5.2 Are you satisfied with joining in this project ?
- 5.3 What items improved by this project ? In which fields were realized success ?
- 5.4 What items did not improve ? In which field was not realized success ?
- 5.5 How would you rate this project on the scale from zero to hundred, (where zero is complete failure and one hundred is complete success) ?
- 5.6 Do you think it is necessary to continue this project ?



5.7 Would you tell us your advice on the future plans to achieve success the project ?

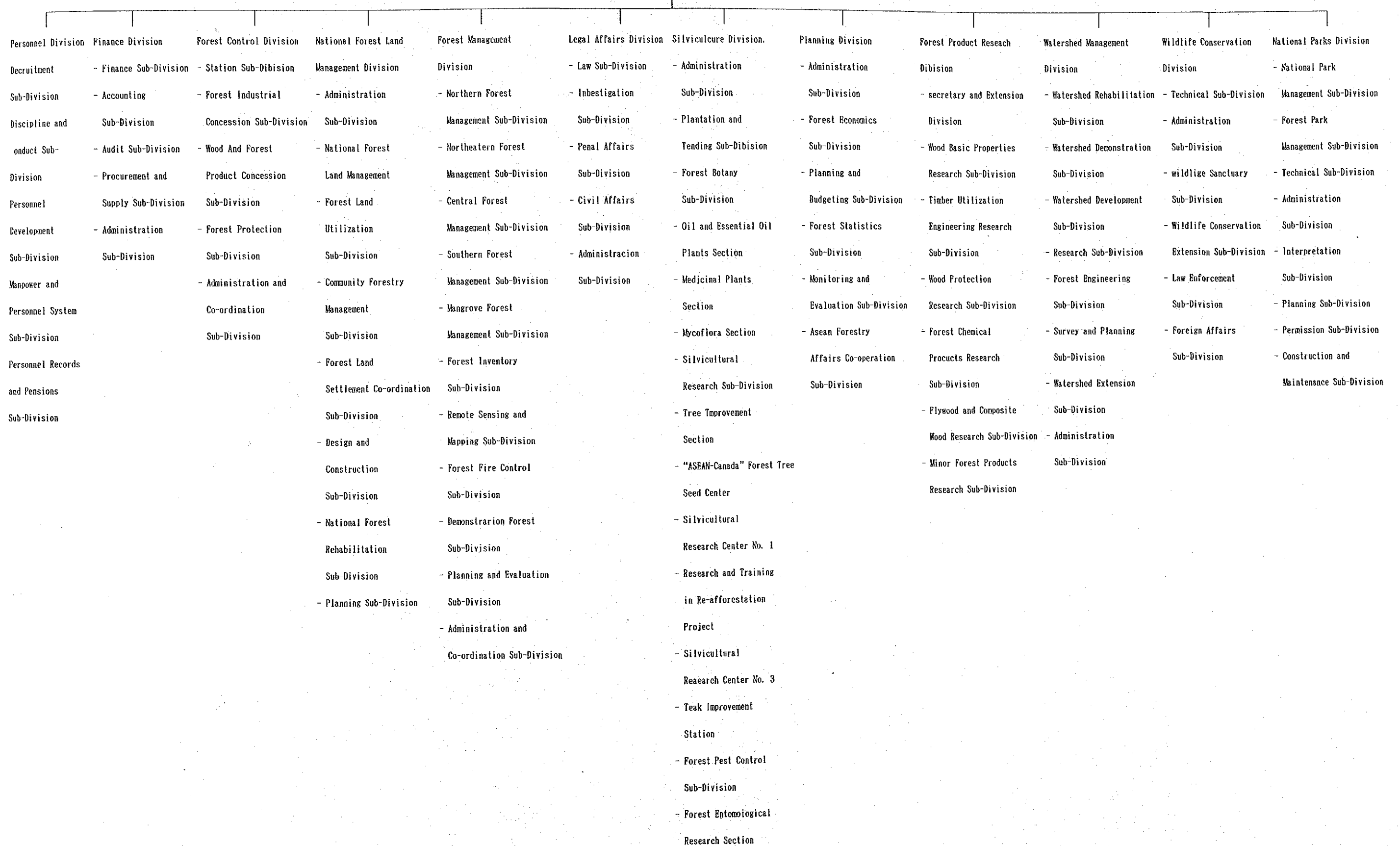
5.8 What are important things to continue the project in future ?

7. On other comments.

Do you have any comments that you feel would be significant for this evaluation ?

Thank you very much for your cooperation !

ROYAL FOREST DEPARTMENT



JICA